

議 事 録

会議名	令和6年度 第2回寒川町教科用図書採択検討委員会		
日時	令和6年7月18日（火）13:30～16:30	開催形態	公 開
場所	寒川町民センター（講義室）		
出席者	委員： 大川勝徳教育長 布谷あけみ委員 小川雅子委員 大森博明委員 山本博司委員 大野郁子委員 林ミカ委員 秋葉真之委員 菊本葉子委員 事務局： 黄木悟学校教育課長 上村純一指導主事 畠山裕子指導主事 高橋正人指導主事 明珍陽介指導主事 徳永龍太郎指導主事		
議 題	令和7年度使用中学校教科用図書について		
決定事項	令和6年度寒川町教科用図書採択検討委員会 調査研究報告		
議 事	別添 「令和6年度 第2回 寒川町教科用図書採択検討委員会 会議録」のとおり		
資 料	資料9 「中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程教科用図書調査研究の結果（令和7・8・9・10年度使用）」 資料10 「茅ヶ崎・寒川合同調査員会による調査資料」 資料11 寒川町内の中学校長による「教科用図書調査書まとめ」		
議事録承認委員及び 議事録確定年月日	小川雅子委員 秋葉真之委員 （令和6年8月23日確定）		

次 第	発言	内 容
1 開会	事務局	皆様、こんにちは。本日はご多用のところお集まりいただきまして、ありがとうございます。本日、公務等の関係で、1名の委員の方から欠席のご連絡をいただいておりますが、寒川町教科用図書採択検討委員会設置要綱第5条により当検討委員会が成立しておりますので、ただ今より令和6年度第2回寒川町教科用図書採択検討委員会を始めさせていただきます。 本日も教育委員会学校教育課の高橋が進行を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。 それでははじめに、本検討委員会委員長であります寒川町教育委員会、大川教育長よりご挨拶申し上げます。
2 検討委員会 委員長挨拶	委員長	皆様、こんにちは。関東甲信は今日梅雨明けしたそうではありますが、暑い中、そしてお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。 去る5月15日に第1回目の検討委員会が行われ、それに引き続き、第2回目の検討委員会ということになります。今回は、第1回目で確認されました本検討委員会の方針や参考の資料、それらを基にこれからいろいろと議事を深めていただき、寒川の町立中学校に在籍いたします生徒にとって、よりふさわしい教科書の採択に向けたご意見を委員の皆様からいただきたいと存じます。どうぞ皆様よろしく願いいたします。それでは、本検討委員会の目的が達せられますよう、引き続き皆様よろしく願いいたします。
3 資料の説明	司会 全委員 司会 事務局	ありがとうございました。 続きまして、本日の日程についてご案内させていただきます。本日は、お手元の次第に沿って進めさせていただきますと思います。 次に、資料の確認をお願いいたします。 資料9は、「中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程教科用図書調査研究の結果」でございます。 資料10は、「茅ヶ崎・寒川合同調査委員会による調査資料」でございます。 資料11は、町内中学校長による「教科用図書調査書のまとめ」でございます。 資料9、10、11につきましては、既に送付させていただいたものです。万が一、落丁など不備がございましたら、お取り替えいたしますので、お申出ください。 (不備無し) なお、資料につきましては、公正確保のため、本日の検討委員会終了後に、前回お渡ししました資料1から8を含めまして全て回収することとなりますので、あらかじめご承知おきください。 それでは、資料9から資料11について、事務局、畠山よりご説明申し上げます。 それでは、資料9、10、11をご覧ください。 初めに、資料9「中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期

		課程教科用図書調査研究の結果（令和7・8・9・10年度使用）」です。これは県の調査委員会が調査研究した結果でありまして、選定審議会を経て、神奈川県教育委員会から市町村教育委員会へと送付されてきたものです。 資料10は、茅ヶ崎・寒川合同調査委員会作成の「調査資料」です。これは神奈川県の通知並びに検討委員会の方針を受けまして、町内の中学校教員の中から教職経験豊かな者を教育委員会が調査員として委嘱し、茅ヶ崎市と合同で調査研究した結果をまとめたものでございます。種目ごとに3～5名を配置しまして、合計53名で調査研究したものです。 最後に、資料11は寒川町内の中学校長による「教科用図書調査書まとめ」です。これは神奈川県の通知並びに検討委員会の方針を受け、寒川町立中学校長の責任の下で、各学校において、県の「調査研究の観点」及び「寒川町教育振興基本計画の基本方針」に沿って調査研究したものを事務局でまとめたものでございます。 各学校で調査をしていただき、それぞれの項目ごとによいものに○をつけていただきました。そして、中学校3校が○をつけていたものをA、2校が○をつけていたものをB、1校が○をつけていたものをCと表示しております。これで検討委員会の方針で主たる資料とした教科書見本本、編修趣意書、学習指導要領、県教育委員会の通知「採択方針」、県の調査研究の結果、茅ヶ崎・寒川合同調査委員会の調査資料、町内中学校長による「教科用図書調査書まとめ」の合計7種類が全て出揃ったことになります。これらの資料を基に本日は、採択に向けたご意見を皆様からいただきたいと思います。 なお、社会科歴史的分野につきまして、発行者番号229、学び舎の教科書がございましたが、見本本が送付されなかったため、編修趣意書のみの調査となっております。つきましては、資料9の県の調査結果を主にご参照くださいますようお願いいたします。以上でございます。 それでは、ここで10分程度、資料9から資料11までをご覧ください、ご検討くださるようお願いいたします。その後、これらの資料につきまして、何かご質問があれば、挙げていただきたいと思います。それでは、今から10分間よろしくようお願いいたします。 〈検討 10分間〉 それでは、10分経ちましたので、再開させていただきます。資料9から11までについて、何かご質問等はございますでしょうか。 〈なし〉
4 議事の扱いについて	司会	ないので、それでは、本日の議事の取扱いについてご説明いたします。 検討委員会における審議の内容は会議録を取らせていただきますが、個人名は記載せず、委員、議長、事務局などと記録いたします。なお、これからご審議いただく教科書は全て文部科学省の検定を合格しており、ある一定の水準を保っております。それを尊重したご発言をお願いいたします。

		公開に関しましては、8月の採択終了後に、検討委員会の会議録、報告書等をホームページ上で公開してまいりますので、ご了承願います。
5 議事	司会	それでは、これより議事に入らせていただきます。ここからの議事進行につきましては、大川委員長にお願いいたします。
	議長	それでは早速、議事に入らせていただきます。なお、着座にて進行させていただきます。
	委員 議長	はじめに、本検討会議録の署名委員を小川委員と秋葉委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。 結構です。 ありがとうございます。では、よろしくお願いいたします。 それでは、議事1、令和7年度使用中学校用教科用図書についての審議に入らせていただきます。進め方ですが、種目ごとに行ってまいりたいと思います。はじめに、種目担当指導主事から、調査員がまとめました調査資料の説明をお願いいたします。その後、審議としたいと思います。 審議に当たりましては、検討委員会の方針に従いましてご発言いただきたいと思います。本検討委員会では、多面的に審議をしてみたいと思います。皆様に理由を挙げてご推薦いただき、基本的には2者か3者にまとめていきたいと思います。なお、発行者の数の少ない種目につきましては、全て推薦の場合や審議の結果、1つになるということもあるかもしれません。いずれにいたしましても、多様な意見を出していただき、推薦していただきたいと思います。
	事務局	それでは、国語から始めたいと思います。事務局より説明をお願いいたします。 それでは、ご説明申し上げます。教科書はお二人に1冊という状況ではございますが、どうぞお手に取ってご覧いただきながら、資料10の調査資料を併せてご覧いただければと思います。 まず、調査資料の1ページ目をお開きください。発行者番号2 東京書籍「新編 新しい国語」につきましては、現代社会の関わりを意識して学べるよう、各学年に「未来を考えるための九つのテーマ」、「未来への扉」が配置されている。また、3年間を通して、各領域で身につけさせたい力が段階的に学習できるよう、教材ごとに「言葉の力」として明示されているなどの特徴がございます。 続きまして、発行者番号15 三省堂「現代の国語」につきましては、読むことの領域における資質・能力を育めるよう、読み方を図解で示した「読み方を学ぼう」が掲載されている。また、思考の過程や深まりを視覚的に捉えられるよう、シンキングツールを用いた「思考の方法」が掲載されているなどの特徴がございます。 続きまして、2ページ目をお開きください。発行者番号17 教育出版「伝え合う言葉 中学国語」につきましては、多様な立場や考え方を知り、社会の

		課題と向き合うことができるよう、SDGsを踏まえた教材が各学年に掲載されている。また、読書活動の充実を図ることができるよう、各単元に「広がる本の世界」として本の紹介が掲載されているなどの特徴がございます。 続きまして、発行者番号 38 光村図書出版「国語」につきましては、資質・能力を生かしながら自己評価ができるよう、デジタルコンテンツを使用した「国語の力試し」が掲載されている。また、書くことの資質・能力を育めるよう、多様な題材を用いて取り組めるよう、「書くことのミニレッスン」が二次元コードで掲載されているなどの特徴がございます。以上でございます。 ありがとうございます。ただ今の説明につきまして、何かご質問、ご意見等はございますでしょうか。よろしいでしょうか。 では、ご意見をお願いします。 国語ですが、今回教科書を見せていただいて、以前私が学んだ頃は、自分で大事だと思うところにアンダーラインを引いて、それをノートにまとめながら整理したり記憶したり、そしてテストに臨んだりという形を取っていました。最近の学びは主体的で対話的で深い学びに向けて実践していますから、生徒自身が課題を設定したり、目的や意義を見い出したり、他者と一緒に学べる方が考えも広がるし、深まるといった学びに変わっています。そういった点で、インプットするだけでなく、アウトプットする時間とか、教科書自体がファシリテーター役となるような言葉がけというのは非常に上手に構成されているなというふうに感じました。今回の教科書では、そういったつかみ取りやすさといいますか、デザイン力の高さですとか、それから、ファシリテーター役になるような言葉がけのやりやすさというところを、全体を通してちょっと念頭に置きながら考えさせていただきました。 そして、私は2者を推薦させていただきます。まず、光村図書出版の「国語」なのですが、1年生の最初の学びの入り口に、「声を届ける」と題してまず音読、詩を音読するところから入っているんですね。これは発表などするときに、声を出すことってすごく勇気が要ることですけれども、それをみんなで声を出して詩を読み合うというところから始めているのが、よい工夫だなというふうに思いました。そして、そのために用意された工藤直子さんの詩の内容も大変面白いものだと感じました。 それから、発表するときのコツや聞くときの態度を学んだり、「書き留める」と題して、自分の気づき、情報、私の評価など、1年から3年まで言葉を書き留めるという自分なりの記録を続けることを提案しているんですね。このような習慣が身につくと、将来の財産になるのかなというふうに感じました。 2年生の教科書では、立場を尊重して話し合うというところがあるんですけれども、討論によって視野を広げることを学ぶようで、本当に子どもたちにはぜひ身につけてもらいたいなと思いました。光村図書出版の教科書では、話の構成を工夫したり、情報を整理して説明したりすることで、論理の展開を意識して組み立てることができるようになるなと考えました。国語の技能
	議長	
	委員	

		的なところを追求しながら学べるといった印象がありますので、光村図書出版を推薦いたします。 もう1者ですが、三省堂の「現代の国語」です。国語の教科書ということで、読ませていただいたときに、読んで楽しかったのが三省堂の「現代の国語」だったんですね。文章も楽しかったですけども、挿絵のきれいさとか、それから、魅力的な写真、余白の取り方も読みやすいなと感じました。 「学びの道しるべ」というコーナーがあるんですけども、そこで自分の考えを深めたり、学びを振り返ることへの提案がありまして、より深い思考を広げることができると思いました。そのページの下の方には、思考の方法として、自分の考えの根拠を明らかにするとか、「語彙を豊かに」のところでは、例えの表現の仕方、それから、批評・評価するときの表現などが学べますので、こうしたことから、国語力の向上が無理なく楽しく身につく内容だと感じたところが理由です。あと1つですけど、古典の学習は、現代国語と違って、興味を持つ人と苦手意識を持ってしまう人に分かれやすいところなんですけれども、古典の文章が余白を大きく取って上段にありまして、現代語訳が青字で下に出ているところも、私は読みやすいなというように感じました。「枕草子」のところでは、「やまぎは」と「やまのは」という言葉の意味がイラストで図解されているときに、私も長年、多分こうだろうなという、もやもやとした思いが、ああっと、何だろう、すっきりしたような、そういう何でしょうね、分かっているようでぼんやりした言葉も丁寧に取り上げていたところが非常に楽しく学べるなと感じましたので、三省堂を推薦いたします。
	議長 委員	ありがとうございます。他には、いかがでしょうか。 どの教科書も、これから時代に必要な力の土台となる国語の力を子どもたちが身につけられるよう編集されていると思いました。 その中で私は、光村図書出版を推薦したいと思います。まず、教科書を手にとったときの感触が、滑りにくくて、よかったです。表紙の絵も、心がほっとするような温かみを感じました。 内容的には、確実に言葉の力を育むための工夫が随所に見られました。巻頭、「学習の見通しを持とう」という部分では、1年間でどんな力を身につけるかを、他教科やSDGsとの関連もよく分かるように一覧表になっています。また、「学びのカギ」は、全領域で学習の流れとポイントを明確に示し、資料編でも整理されており、生徒が主体的に学習に取り組めるようになっています。そして、巻末「国語の力試し」で、身につけたい資質・能力を評価できます。それから「語彙ブック」の活用により、学習の幅が広がっていくなというのをすごく感じました。さらに、読書活動推進のページも多く取られています。各領域がバランスよく配置されており、総合的な国語力を育むのに適した教科書であると思います。以上です。
	議長	ありがとうございます。他にはご意見いかがでしょうか。

	委員	私は、東京書籍と光村図書出版を推薦します。色々と見させていただいた中では、読書関連といったものに多くの紙面を用いて、非常に多様な作品を載せていると思いました。こういった中で、お勧めの本の紹介とか、本の表紙つきで紹介したところが、子どもにとっては読書への関心が高まってくるのではないかなと思っています。また、本文の下の方の注釈の部分に、新出漢字だけでなく、その読み方や熟語、こういったものを書いてあるのも、つまりいたときには参考になるのかなと思っています。
	議長 委員	また、その中でも、光村図書出版の「語彙ブック」の活用については、学習の幅がより広がるように工夫されていることを感じました。読書活動推進のためのページをかなり割いていて、生徒が本を手に取りやすい、こういった工夫がなされているのかなと思いました。こういった形で両方とも併せて、よいところが見られたように思います。 ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。 一番読みやすかったのは三省堂の教科書でした。本当にさらさらとストレスなく読んでいけて、装丁ですとか、中の挿絵とかも、すごく感覚的なものですけど、今の子どもたちが割と目にしているようなイラストが使われているので、子どもたちには入っていきやすいのかもしれないな、何かそういうようなところから見させていただきました。
	議長 委員	私が一番よいなと思ったところが、1年生の305ページですけれど、「質問の仕方」というところの図解が載っていますが、クローズドクエスチョン、イエス・ノー型選択型、情報取り出し型、思考促し型というのが図解で示されていて、やっぱりコミュニケーション能力がこれからすごく重要になっていく中で、各授業とかでも必要になってくると思うんですけど、明確にそういう質問の仕方があるというのをはっきりと分かりやすく書いてあり、こういうことが事前に情報として子どもたちにあると、子どもたち同士での話し合いとか、そういうところでも力を、効果を発揮するのではないかなと思います。三省堂を推薦いたします。以上です。 ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。 どの教科書も本当に国語の教科書として素晴らしさがありますし、それから、中学生として学ばなければいけないことが順番にきちんと整理されているなと感じました。 その中で私は、光村図書出版の「国語」の教科書を推薦します。バランスがよいということ、それから、やはり学校でいろんな子どもたちが先生と一緒に学ぶことがほとんどの場面ですが、そうではなく、自宅で学ぶとか、別室で学ぶという生徒も実際おります。その中で、シンプルなつくりで、順番に読み進めていくと自分が先生と一緒に勉強しているような気持ちになれるという観点でいうと、光村図書出版の教科書が一番学びやすいなと感じました。特に、「学びの扉」というページがありますが、そのページに書いてあることは、授業を普段見ていて、国語科の先生方が最も重視して教えている

	議長 委員	部分というふうにも感じましたし、そういう部分では、教えやすさが一番あるのかなというふうに感じました。以上です。 ありがとうございました。他にはご意見いかがでしょうか。 委員の皆様がおっしゃっていただいたようなことと重なるかと思えますけれども、どの教科書も、一個人として国語の授業は非常に好きでしたので、教科書を広げると物語が広がったり、また、語彙力が広がる世界というのは非常に見ていて楽しいなというふうに思いながら教科書を見させていただきました。 私としては、東京書籍、光村図書出版がいいかなというふうに見ております。学校現場としては、今、読書の時間が非常に削られていて、子どもたちが読書に割く時間が少し学校生活の中で減ってしまったなというのを考えると、国語の授業の中でそういった部分に触れてこと、また、書くこと、語彙力をつけていくというところも中学生にとっては一番大事なところというふうに考えていくと、どの教科書もその部分に触れて、非常に年齢に合わせてというふうには作られておりますけれども、その部分を考えると、この2者が順番としてはいいのかなと感じております。以上です。
	議長	ありがとうございました。他にはいかがですか。 それでは、国語について今ご意見をいただいてまいりましたが、他にご意見はございますでしょうか。 それでは、ここで国語につきまして、皆さんのご意見を総合して、寒川町の生徒たちにとってふさわしい教科書発行者の傾向を確認しておきたいと思います。まず1つ目は、東京書籍、三省堂、そして光村図書出版のこの3つに推薦がございましたということによろしいでしょうか。
	全委員 議長	〈了承〉 それでは、これらの発行者の教科書を推薦するということでまとめさせていただきます。ありがとうございました。
	議長 事務局	それでは続きまして、書写について事務局より説明をお願いいたします。 それでは、書写についてご説明申し上げます。 まず、調査資料の3ページをお開きください。発行者番号2東京書籍「新編 新しい書写」につきましては、文字を書くことの意義を考えられるよう、表紙裏に「文字を『書く』ってなんだろう」が掲載されている。また、小学校からのつながりを意識できるよう、毛筆の筆遣いを、慣れ親しんでいる擬態語を用いた表現で記載されているなどの特徴がございます。 続きまして、発行者番号15三省堂「現代の書写」につきましては、既習内容を生かせるよう、各学年に「やってみよう」の教材や「書いて身に付けよう」が掲載されている。また、単元を通して学んだことを基に自己の成長を確認できるよう、各項目の終わりに振り返りを書き込むページが設けられているなどの特徴がございます。

		続きまして、4 ページをお開きください。発行者番号 17 教育出版「中学書写」につきましては、伝統と文化を尊重する態度を育めるよう、文字文化についてのコラムが掲載されている。また、行書の特性を理解できるよう、楷書→行書→草書という流れが、立つ→歩く→走るという動作のイラストで示されているなどの特徴がございます。 発行者番号 38 光村図書出版「中学書写」につきましては、3 年間の目標を書き留め、見通しを持って学習することができるよう、「書写ブック」として 1 冊にまとめられている。また、手書きの価値や現代における文字文化の理解を深めることができるよう、手書きのよさを考えさせるページが設けられているなどの特徴がございます。以上でございます。
	議長	ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、何かご質問、ご意見ございますでしょうか。
	委員	それでは、ご意見をお願いいたします。 光村図書出版の「中学書写」を推薦したいと思います。理由は、漢字の筆遣い、筆順、外形、中心、それから、点画部分の組立て方などが、書き込んで丁寧に練習するところからスタートしているのがいいかなと思いました。点画についても、その変化とか連続した書き方、省略の形なども書き込みながら、楷書と行書の学びができる点がいいと思いました。筆遣いですが、毛筆の筆遣いなのですが、濃淡をつけた説明と、「ぴょん」、「ぴたっ」などのアドバイスがあって、これに関してはリズムを感じながら導かれるところがいいと思います。 78 ページには、楷書と行書の使い分けを考えるとといった学びがあって、誰に向けて書くのか、そして、何のために書くのかと、場面によって使い分けをを考えさせていますので、将来このような経験が役に立つと思いました。手書きのよさについて触れているところがとてもよかったんですけども、104 ページのコラムには、自分らしい文字として、谷川俊太郎さんややなせたかしさんなどの個性あふれる文字が載せられているんですね。そこには、文字には書き手の生き方や考え方などが表れていて、その文字から何を感じますかという文章が添えられています。正しく文字を書くことを学んできた生徒たちが、自分らしい文字や手書きのよさなど、書くことに主体的に取り組めるのではないかなと期待を持ちます。 また、寒川の町内の南小学校と、それから、寒川東中学校の校歌の作詞が谷川俊太郎さんなので、この谷川俊太郎さんの自筆の文字が見られるところもそれぞれに校歌のイメージが浮かぶのではないかなという点で、光村図書出版を推薦させていただきます。
	議長 委員	ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。 私も光村図書出版を推薦したいと思います。教科書を開きますと、すてきなメッセージがあり、書写の学習をすることの意味を伝えています。「書写ブック」が別冊でついていて、毛筆で学んだことを硬筆に生かし、繰り返し学

		ぶことで書く力を身につけ、日常生活でも活用できるよう工夫されています。 先ほども出ましたが、手書きの文字のよさについてみんなで話し合ったり、自分らしい文字について考えたりする学習教材も評価できます。 また、1年生の導入の部分でアニメーション動画が取り入れられているんですけども、何か小学校から中学校へ入って、その接続ですか、そのあたりがすごく楽しくできるような工夫がされていて、編集者の思いがそこに感じられました。 さらに、毛筆作品の見本が半紙と同じ大きさになっていて使用しやすいことや、毛筆の筆遣いが朱書きでされていて、生徒が具体的なイメージを持つことができることもよいと思いました。以上です。
	議長 委員	ありがとうございます。他にご意見いかがでしょうか。 実際に現場で書写を指導したことがある身としては、光村図書出版の教科書の方が指導しやすいのかなと個人的には感じております。やはり視覚的に点画の部分が私としては非常に分かりやすく提示されているというのは大分大きいところかなと感じております。
	議長 委員	また、教科横断的なもので考えていきますと、芸術的な「書」というところのつながり、特に美術なんかでも書を、毛筆を使った形で美術作品を指導したりというところの部分で、非常に教科の連携がしやすいのかなと感じています。以上です。
	議長 委員	ありがとうございます。他にご意見はいかがでしょうか。 私は、東京書籍と光村図書出版を推薦したいと思います。どちらも書の基本から生活実践まで非常に上手に出てきていますし、光村図書出版につきましては、今たくさん意見が出ていた意見に大体僕も賛同するところがあります。
	議長	東京書籍は、やはり日常の生活で活用されるように、文字文化の紹介、こういったものも資料として出ていますので、非常にそういった意味では幅広く学習できるのかなということと、それから、書き込める箇所も非常に多くていいのかなと思いました。ということで、私は2者を推薦したいと思います。
	議長	ありがとうございます。他にはいかがですか。よろしいでしょうか。 今、書写についてご意見いただいてまいりましたが、他にご意見よろしいでしょうか。
	議長	それではここで、書写について皆さんのご意見を総合して、寒川町の生徒たちにとってふさわしい教科書発行者の傾向を確認しておきたいと思いますが、一つは東京書籍、もう一つは光村図書出版に推薦があったということでよろしいでしょうか。
	全委員 議長	〈了承〉 それでは、これらの発行者の教科書を推薦するという事でまとめさせていただきます。

	議長 事務局	それでは続きまして、社会科地理的分野について、事務局より説明をお願いします。 それでは、社会科地理的分野につきましてご説明申し上げます。 まず、調査資料の5ページをお開きください。発行者番号2 東京書籍「新編 新しい社会 地理」につきましては、持続可能な開発目標（SDGs）を自分事として捉えられるよう、「未来にアクセス」が設けられている。また、主体的・対話的で深い学びにつなげられるよう、「もっと知りたい!」や「聞かせて! 中学生」のコラムが掲載されているなどの特徴があります。 続きまして、発行者番号17 教育出版「中学社会 地理 地域にまなぶ」につきましては、思考力、判断力、表現力等を育めるよう、資料の読み取りや考察のポイントを提示した「THINK!」が掲載されている。また、広げることができる資料性の高いグラビアページなど、地図や写真が大きく掲載されているなどの特徴があります。 続きまして、6ページをお開きください。発行者番号46 帝国書院「社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土」につきましては、自らの考えを整理したり、学習内容をまとめたりすることができるよう、「考えを整理する方法～思考ツールを活用しよう～」では、思考ツールが掲載されている。また、地図帳の関連する内容から教科書での学習を深められるよう、「地図帳活用」が設けられているなどの特徴があります。 続きまして、発行者番号116 日本文教出版「中学社会 地理的分野」につきましては、社会や地域の課題を自分事として捉え、解決する態度を養えるよう、節ごとに「持続可能な地域を目指して」が掲載されている。また、1単位時間分の学習の流れを意識できるよう、「学習課題」、「見方・考え方」、「確認」、「表現」が見開きページの両端に配置されているなどの特徴があります。以上でございます。
	議長 委員	ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等ございますでしょうか。 では、ご意見をお願いいたします。 4者読ませていただきました。4者の教科書ともよいところがあり、正直迷いましたが、私は帝国書院を選びました。 東京書籍におきましては、全体的にまとまっている印象で、見やすさを感じました。見開きに円形図があり、持続可能な社会の実現に向けての表記があり、まとめ方がこれぞ社会。集約し、社会を分かりやすく1つの図でまとめているところはすばらしいと感じました。グラフの読み取り方、作り方、有線図は理解しやすく、グラフの必要性、作る意味、作り方などもよくまとまっていて、全体的な構成、図解、写真など分かりやすいと感じました。 帝国書院におきましては、国名、国境、国旗など、地図を表記し、具体的に分かりやすく説明されていると感じました。随所に「確認しよう」、「説明

	議長 委員 議長 委員	しょう」があり、生徒たちが学ぶ際のポイントやプレゼンする能力を引き出せることができると感じました。 教育出版におきましては、日本の特色や地域区分や、図と解説が非常に分かりやすく、図解の使い方の大切さや、区分をつくる意味などが例を出しながら分かりやすいと感じました。変化する人口においては、グラフを用いて説明し人口の変化を伝えるとともに、グラフの伝える力がよく伝わってきました。震災の経験を未来に生かすという点では、観光ホテル等を例題に挙げ、悲しみだけではなく、未来に向けての復興の在り方などを例に挙げ、よくまとまっていて素晴らしいと感じました。 日本教育出版におきましては、気候推理ゲームなどを用いて、生徒に興味を持ってもらおうという発案は素晴らしいと感じました。特に自然災害から見た日本、人口から見た日本の特色と地域区分は分かりやすいと感じました。個人的には、最後のページに日本の県別資料があり、県別の人口や大きさ、人口比率、県内総生産などを一覧表にまとめており、一覧表からいろいろなことが想像できると感激いたしました。 最終的には、4者ともに素晴らしいところがあり、甲乙つけ難かったのですが、学習の流れ、単元構成を総合的に見ますと、社会の苦手な生徒にも理解や興味を持ってもらえそうな点から考慮し、最終的には社会に一番大切なわくわく感を感じられた帝国書院を推薦したいと思います。以上です。 確認でございます。帝国書院を今推薦ということによろしいですね。 はい。 ありがとうございます。それでは、他にご意見いかがでしょうか。 2者推薦させてください。東京書籍の「新しい地理」と帝国書院の「中学生の地理」です。 先ほどおっしゃったように、紙面が非常に見やすいなと感じましたのが東京書籍です。紙面が、フォントとか色遣いが見やすいので、学習の課題となる資料が大きくて興味を引きました。それから学習の課題をつかみやすいし、まとめの活動のページも見やすいことから、取り組み意欲が高まるなというふうに感じました。「チェック」で大切なところを把握して、「トライ」で説明することを促しているのも、アウトプットすることで学習の定着が図れると思います。「探究課題を解決しよう」や「地球的課題を振り返ろう」のところでは、これから解のない社会とされていますけれども、時代とされていますけれども、未来を明るくするような、そんな思考や姿勢が生徒たちに育まれるのではないかなという希望を持ちました。「もっと知りたい」、「もっと解決」のコーナーでは、興味深い情報が載せられていて、読んでいる私になるほどと納得しながら楽しく読ませていただきました。以上のようなよいと思われる内容が紙面に見やすく配置されていて、学習に取り組むやすい教科書だと思う点で東京書籍がいいと思います。 それから、帝国書院では、地図が載せられているページがすごくいいです。
--	----------------------	---

	議長 委員	そのページにある写真やイラストを眺めると、その地方の全体的な特徴を把握することができるので、視覚的な楽しさがモチベーションの上がる理由になるのではないかなと思いました。教科書にある様々な地図から情報を読み取ったり、「地図帳活用」という言葉がけのところで、地図帳を活用しながら並行して学ぶということは地理的な見方とか考え方が深まるのではないかなと思いました。 150 ページと 151 ページに「アクティブ地理」というところがあるんですね。そこで、自然災害から命を守ろう、災害の危険性と防災情報の活用というテーマが取り上げられていますが、そこに鎌倉市の津波ハザードマップが大きく描かれています。寒川の子供たちが遠足や家族などで出かけやすい近隣の鎌倉市を例に災害のマップを学べることも非常によい機会なのかなと思いました。 単元の見通しをつけて、単元を振り返り、章や節の問いに取り組むことも主体的で質の高い学びと知識の定着が図れると思います。「アクティブ地理」、「未来に向けて」、「技能をみがく」、「地理プラス」などのコラムがあるんですけども、そこでは、対話をしたり、問題の解決を考えたり、教科を横断した学びにも発展していったりと、視野の広がる内容だと思った点で、帝国書院さんの「中学生の地理」を推薦させていただきます。どちらも大変楽しく拝見いたしました。 ありがとうございました。他にご意見いかがでしょうか。 他の委員さんがおっしゃっていただいたことと重複してしまいますけども、私も帝国書院の教科書の方を推薦したいと思います。 単元を通した学びから毎時間の学び、そして、授業の中で教員が説明する内容、自分のタブレットを使うという個の学びも含めて、自分で何となく掴んだなというものをもう一度教科書に戻って確認するときに、資料が見やすいこと、中学生が読んで分かりやすいなと思ったことが一番の理由です。 そして、できればこれはもう願望ですけども、夏休みとか、家に持って帰ったときに、数学などは難しいという保護者がおっしゃることがありますが、国語とか社会とか特に地理については、子どもと一緒に教科書を手に取りながら読み、その時に「技能をみがく」というところでは、例えば写真の読み取り方とかグラフの作り方というのはこういうものだよ、とそこで会話が生まれる。大人がお仕事で使っているようなそういうスキルなどを子どもと話をするなんていうものに結びついていければいいなと、私もちょっとワクワク感を想像しながら教科書を見させていただきました。 あと、コラムの方も充実しております。他者さんもいろんな情報が入っていますが、その中で一番読み取りやすかったのが、帝国書院の地理を推薦します。 ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。 私は、東京書籍と帝国書院の方を推薦します。まず、東京書籍は、非常に
	議長 委員	

		読んでいて分かりやすく、基礎的な内容が非常に充実していて、寒川の子どもたちには合っているかなと思いました。また、導入の活動とか、「資料から発見」のコーナーがあって、非常にそういった学習の中で意識しやすい工夫がなされているなと思っています。 あと、帝国書院は、他の委員も言われたので大体同じようなことですが、学びの中で、問いを軸にした学び、それから、非常に生徒が理解しやすいように組み立てられている配慮、こういったものが分かりやすいのと、「学習を振り返ろう」で多面的な発展的な考察の仕方がしやすく、さらに、タブレット端末を生かした二次元コードが非常に多くて充実しているなど感じています。以上です。
	議長	ありがとうございました。他にご意見いかがでしょうか。よろしいですか。 それでは、社会科の地理的分野についてご意見いただいてまいりましたが、他にご意見等ございませんね。
	全委員	それでは、ここで社会科地理的分野についての皆さんのご意見を総合して、寒川町の生徒たちにとってふさわしい教科書発行者の傾向を確認しておきたいと思います。一つは東京書籍、もう一つは帝国書院に推薦があったということによろしいでしょうか。
	議長	〈了承〉 ということで、それでは、これらの発行者の教科書を推薦するということでまとめさせていただきます。ありがとうございました。
	議長	では続きまして、社会科歴史的分野について、事務局より説明をお願いいたします。
	事務局	それでは、社会科歴史的分野につきまして、ご説明申し上げます。 まず、調査資料の7ページをお開きください。発行者番号2 東京書籍「新編 新しい社会 歴史」につきましては、対話を促し、深い学びにつなげられるよう、参加型学習の活動例として「みんなでチャレンジ」が掲載されている。また、本文と資料部分の区別ができるよう、資料部分に色つきの背景が使用されているなどの特徴があります。 続きまして、発行者番号17 教育出版「中学社会 歴史 未来をひらく」につきましては、課題解決学習が行えるよう、1時間で学習したことを確認、表現できるよう構成されている。学習への興味・関心を高められるよう、毎時の見出しには、学習内容を象徴する表現が使用されているなどの特徴があります。 続きまして、調査資料の8ページをお開きください。発行者番号46 帝国書院「社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き」につきましては、思考力、判断力、表現力等を育めるよう、パフォーマンス課題を設定した「アクティブ歴史」が設けられている。また、新たな気づきを促せるよう、各章の初めに、各時代を概観できる「タイムトラベル」が掲載されているなどの

		特徴があります。 続きまして、発行者番号 81 山川出版社「中学歴史 日本と世界 改訂版」につきましては、高等学校との円滑な接続を図れるよう、日本と世界のつながりを意識できる内容が掲載されている。また、日本の歴史と世界の歴史が区別できるよう、題材の見出しの背景が色分けされているなどの特徴があります。 続きまして、調査資料の 9 ページをお開きください。発行者番号 116 日本文教出版「中学社会 歴史的分野」につきましては、主体的な学びを促すことができるよう、各節の最初のページに「イントロダクションムービー」の二次元コードが掲載されている。また、学んだ知識を活用できるよう、歴史を学ぶ面白さを体験できる「チャレンジ歴史」のページが設けられているなどの特徴があります。 続きまして、発行者番号 225 自由社「新しい歴史教科書」につきましては、世界史との関連を意識できるよう、巻末に「世界地図・王朝の興亡一覧」と「元号→西暦早見表」が掲載されている。また、歴史への興味・関心を高められるよう、豆知識を盛り込んだ「知っ得ポイント」が掲載されているなどの特徴があります。 続きまして、調査資料の 10 ページをお開きください。発行者番号 227 育鵬社「新しい日本の歴史」につきましては、資料や学習内容について多面的・多角的な考察を深められるよう、「歴史ズームイン」に様々なコラムが掲載されている。また、日本の歴史や文化を理解できるよう、巻頭資料として「日本の美の形」が掲載されているなどの特徴があります。 続きまして、発行者番号 229 学び舎「ともに学ぶ人間の歴史」につきましては、実感を伴って学べるよう、「歴史を体験する」では、火おこしや糸紬ぎなどの体験学習が掲載されている。また、男女平等の精神が養われるよう、女性の生きる姿を描いたコラムが掲載されているなどの特徴があります。 続きまして、調査資料の 11 ページをお開きください。発行者番号 236 令和書籍「国史教科書 第 7 版」につきましては、伝統や文化に関する教育を充実させられるよう、「日本語の起源」に、古来から続く日本文化に関するコラムが掲載されている。また、本文中の歴史的な用語や事象について、常時確認できるよう、注が設けられているなどの特徴があります。以上でございます。
	議長	ただ今の説明につきまして、何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。
	委員	それでは、ご意見をお願いいたします。 全者ともすばらしく、惹かれましたが、その中から東京書籍、教育出版、帝国書院に絞らせていただき、私は帝国書院を選びました。 東京書籍におきましては、思考力、判断力、表現力を育めるよう、各章の初めに探究課題が設定されています。思考とともに伝え方を高める一環とし

	議長 委員	て、「プレゼンテーションソフトでスライドをまとめよう」は、これからの時代に必須なことであると感じました。日本地図により国宝・重要文化財の掲載は、生徒に歴史を身近に感じさせることと感銘いたしました。チャート、くらげシートなどは、考える、想像させる、伝えるに力を入れることが、歴史を学びつつ、これからの時代や必要な物事への対応力を育むのではないかと期待しています。 教育出版におきましては、歴史へのアプローチにより、歴史への見方、考え方がまとまっており、感銘いたしました。これからの時代に必要な、感じる・伝えるがよくまとまっていると思います。2度の世界大戦と日本など年表一覧になっており、理解しやすく、覚えやすくなっており、素晴らしいと思いました。 帝国書院におきましては、1 ページ目の「思考ツールを活用しよう」が分かりやすく、思考の在り方、考え方の整理方法がよく分かると思いました。 「歴史的分野を学ぶ意義」、1 ページ目から歴史の大切さを分かりやすく掲載しているところは素晴らしいの一言でしか言い表せません。随所にその時々年表やイラストが分かりやすく、読んでいる私にも伝わってくる表記に思いました。 3 者とも表現が丁寧で、分量もすばらしくまとまっていると思います。歴史でこの字数と絵や図でよくここまでまとまっていると率直な感想です。最終的には甲乙つけ難く、1 者に絞り込むことに難航しましたが、激変する日本からグローバル化の進展、未来のために歴史から学ぶと歴史の大切さが的確に表現されていて理解しやすかった帝国書院を私は推薦します。 ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。 どの出版社の教科書も、学習の助けとなる見方、考え方、豆知識、確認があり、説明や表現をさせる言葉がけもあることから、構成力の高さを感じました。全ての章を学んだ後に、学んだ歴史を未来に生かすSDGsにつながるまとめがあります。特に帝国書院、東京書籍、教育出版、山川出版社などは、歴史の教科書としてそういったまとめ方、結び方がすばらしい組立てになっているなと感じました。 小学校の教科書と比べて情報量がぐっと増えますので、時系列を捉えながら、今学習している時代の見通しが分かりやすいことが大事だと思うのですが、その点では帝国書院、東京書籍、日本文教出版社のページをめくると、右側にどの時代を勉強しているかが一目で分かるところがあり、そういった工夫があるのがいいなと思いました。どの教科書も本当に目に優しい色使いとレイアウトの工夫がすばらしくて、教科書制作に取り組まれた方々に敬意を感じるほど、すばらしい教科書ばかりでした。 中でも一番推薦したいと思ったのは、帝国書院です。知識を興味深く習得する仕掛け、それから、学びを社会に生かそうとする力、思考力・表現力を育てる言葉がけなどが、中学生にとって分かりやすいなと思った点です。
--	----------	--

		具体的に言いますと、これから学習する時代について、まずは小学校で学んだことを踏まえて予想しながら対話をして、学習の見通しをつけるといった設定がなされています。各章の最初に問いがあります。さらに章の各節にも問いが表になって現れていますので、使いやすいと思います。振り返りのページにももう一度各節の問いが表になって示されていることで、しっかりと問いに向き合って表現する力が期待できます。 また、章の問いに対する考えをまとめるための資料の一つに、「タイムトラベル」というページがあります。そこに描かれているイラストの上には、クイズのように言葉がけで出題だけ書かれていますが、それがまるで子どもたちに人気の絵本の「ミッケ！」という本があるんですけれども、その「ミッケ！」の絵本のような楽しい仕掛けがあります。それで、そこにあるヒントを見ると、子ども同士で活発な対話がなされるんだろうなとファシリテーション的な効果もあって、ディスカッションする子どもたちの姿が目に見えました。 また、「アクティブ歴史」では、テーマを設定して、歴史的な見方・考え方を働かせて、自分の意見をまとめたり、他の人の意見と交換することで、主体的・対話的な深い学びができるようになっていました。これが全5テーマありました。その時代を学習しておしまいではなくて、各章の最後に、「これからの社会を創造しよう」というコーナーがあり、2章の古代、3章の中世、進みまして、さらには7章の現代に至るまでの時代の特色をつかんで、その現在とのつながりやSDGsとの関わりを書き出させることは、これは社会的な課題に対する考えを深めることにつながりますので、歴史を学ぶことで明るい未来を創造できる若者に成長してもらいたいなと考えまして、帝国書院を推薦いたします。以上です。
	議長 委員	ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。 私も帝国書院を推薦します。また、東京書籍もよかったので推薦したいと思います。どちらも、やはり寒川の子たちが今非常に発展的に使っているタブレット、こういったものの活用は、二次元コードを通じてデジタルコンテンツが充実しているのが、この2つの教科書は理解しやすいように工夫されているのが分かりました。
	議長	それから、東京書籍は先ほども言いましたけれども、基本的なものが充実していて分かりやすく、表現が丁寧であるので、非常に寒川の子たちには学びやすいのではないかなと思っています。また、様々な時代の出来事、こういったものを年表や資料を基にして学ぶような工夫がなされているので、非常に学びの幅が広がってくるような意識がされていると思っています。また、現代的な課題も、身近な内容で捉えることが可能な構成になっているのも分かりやすいかなと思いました。以上です。 ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。ただ今社会科歴史的分野についてご意見をいただいてまいりましたが、他

	全委員 議長 議長 事務局	にご意見ございませんようでしたら、ここで、社会科の歴史的分野につきまして皆さんの御意見を総合いたしまして、寒川町の生徒たちにとってふさわしい教科書発行者の傾向を確認しておきたいと思います。一つは東京書籍、もう一つは帝国書院に推薦があったということによろしいでしょうか。 〈了承〉 それでは、これらの発行者の教科書を推薦するということでまとめさせていただきます。ありがとうございます。 それでは続きまして、社会科公民的分野について、事務局より説明をお願いします。 それでは、社会科公民的分野につきまして、ご説明申し上げます。 まず、調査資料の 12 ページをお開きください。発行者番号 2 東京書籍「新編 新しい社会 公民」につきましては、社会的事象について多面的・多角的に考察できるよう、章末に「まとめの活動」が掲載されている。また、興味・関心を高められるよう、多様な視点で確かな知識を得ることができる「もっと知りたい！」が掲載されているなどの特徴があります。 続きまして、発行者番号 17 教育出版「中学社会 公民 とともに生きる」につきましては、課題を追求し、解決する力を育めるよう、各章の「公民の技」では、様々な課題に取り組める活動が設けられている。また、様々な資料を活用する力を育むことができるよう、写真や図表、グラフ、コラムなどが各ページに掲載されているなどの特徴があります。 続きまして、調査資料の 13 ページをお開きください。発行者番号 46 帝国書院「社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して」につきましては、生きて働く知識・技能を身につけられるよう、「18 歳への準備」が設けられている。また、国際社会の平和と発展への意識を育めるよう、国際社会における諸課題の実例が取り上げられているなどの特徴があります。 続きまして、発行者番号 116 日本文教出版「中学社会 公民的分野」につきましては、社会的事象等に関する資料を活用する力を育めるよう、「情報スキルアップ」が掲載されている。また、主体的・対話的で深い学びを促せるよう、「アクティビティ」で見方・考え方を働かせる問いが設けられているなどの特徴があります。 続きまして、調査資料の 14 ページをお開きください。発行者番号 225 自由社「新しい公民教科書」につきましては、社会科の他分野や他教科で重複する知識を関連づけられるよう、「ミニ知識」が掲載されている。また、学習内容の要点を端的に把握できるよう、「ここがポイント」が見開きごとに掲載されているなどの特徴があります。 続きまして、発行者番号 227 育鵬社「新しいみんなの公民」につきましては、思考力、判断力、表現力等を育めるよう、学習内容に関する「学習を深めよう」が掲載されている。また、学習の見通しを持てるよう学習に関連す
--	--	---

		る動画へアクセスできる二次元コードがついているなどの特徴があります。以上でございます。
	議長	ありがとうございました。ただ今の説明につきまして、何かご質問、ご意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。
	委員	それでは、ご意見をお願いします。 私は帝国書院と東京書籍の2者のどちらがよいか迷いました。 まず、帝国書院の「学習の前に」の45年前と今の社会を比べさせる絵が、生徒の興味関心を引きつけるのにすごく効果的だと感じました。既習事項や他教科との関連を示してあることや、見開き1ページ分の情報量が非常に豊富で、このことは社会的事象について様々な視点で考えることにつながっていくと考えました。そして、2023年の最新の資料も掲載されています。また、生きて働く知識・技能を身につけられるよう、「18歳への準備」や「アクティブ公民」などが設けられているのもよいと思いました。 一方、東京書籍は、探究課題、探究のステップ、学習課題の3段階で課題解決学習を進める工夫がなされています。社会事象について多面的・多角的に考察できるよう、各章のまとめがワークブックのように書き込めるようになっているのもよいかなと思いました。理解しやすい文章と分量で書かれていることや、情報の量も文字数や写真のバランスがよく、教材として使いやすいと感じました。「18歳へのステップ」もよいと思います。 それで、すごく迷いましたが、総合的に見たときに、寒川の子どもたちにとっては、東京書籍の方がより適していると考え、東京書籍を推薦いたします。以上です。
	議長 委員	ありがとうございました。他にはご意見、いかがでしょうか。 全者ともすばらしく、図やイラスト等を使い、よくまとめ上げていると、正直、脱帽です。その中から私は、東京書籍、教育出版、帝国書院に絞らせていただき、考慮した結果、帝国書院を選びました。 東京書籍におきましては、多面的・多角的に考察できるよう、まとめ活動が掲載されています。身近な物事で例題をつくり、考えさせる、まとめ上げる力を育ませようとするところ、その中で、「決まり事とは」「ルールとは」が分かりやすく掲載されていて素晴らしいの一言に尽きます。思考を育む一環の中から、「コンビニエンスストアの新たなサービスを企画しよう」は、非常に関心深く拝見させていただきました。これからの時代に最も重要な思考かと素直に思いました。 教育出版におきましては、思考ツールを使って情報の整理の掲載があります。プレゼンテーションの仕方も掲載されており、これから皆、仕事をしていくので、伝える大切さ、仕方がしっかりと掲載されているところは、すばらしいの一言です。社会保険の仕組みを掲載する際に、病院の請求書の冊子が出ていて分かりやすく掲載されていますが、医療費が高騰しているとメディアでも常に騒がれている中、さすがだと率直に思いました。「持続不可能か

		ら持続可能へ」の掲載では、公民で一番大事なことを考えさせて育ませようということが伝わってきました。 帝国書院におきましては、「45 年前と今の社会を比べて見よう」は過去から現在を見直すことで未来が見えてくると思います。過去から現在を見たときの発見に生徒たちも楽しさを感じてくれたらうれしく思います。現代社会で捉える枠組みに関して、思考を育ませ、楽しく学ばせようとするのは必要、必須だと私は思います。あと、契約や運営してみようなど、イラスト等で考えさせるところはすごい一言でしかありません。 最終的に、各者とも、法律や内閣等、公民で教えられることが分かりやすく丁寧にきれいにまとまっているというのが率直な感想です。その中でも思考を育むことが多かった帝国書院を推薦いたします。 ありがとうございます。他に、ご意見ございますでしょうか。 私は自分で勉強するという観点から考えました。そこで、授業で教わって、右下に確認、表現が書いてあったり、それから、教科書の右の上半分のところ、大体3分1から半分ぐらいのところに、それぞれの資料が豊富に整っていたりするんですが、文を読んでいて、本文の中で出てきた単語に対して1番、2番、3番と番号がついた中で、そこに解説、資料がついています。それを見ると、なるほどなと思わせてもらうものがたくさんあるという理由から、日本文教出版の教科書が一番と思い、推薦させていただきました。 先ほど申し上げましたように、右下の確認、表現のところで、特に表現、「自分の言葉で説明しよう」では、今授業を参観する中で、説明しようというところから、その説明を隣の人に聞いてもらおう、班の人に説明してみよう、人の説明を聞いて、また自分の説明をもう少しより深く考えて説明をつくり直そうという授業スタイルなので、この言葉があることでもはずみになりますし、そこで毎回毎回ルーティンとして、まとめようとか、確認しよう、説明しようというところが、授業のスタイルとしてもいいですし、子どもたちの授業を受ける心構えとしても適切かなと感じました。以上です。 ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。 それではここで、社会科公民的分野につきまして、皆様のご意見を総合して、寒川町の生徒たちにとってふさわしい教科書発行者の傾向、これを確認しておきたいと思いますが、一つは東京書籍、そして帝国書院、そして日本文教出版、この3者に推薦があったということでよろしいでしょうか。 〈了承〉 それでは、これらの発行者の教科書を推薦するということでまとめさせていただきます。ありがとうございます。 続きまして、社会科地図につきまして、事務局より説明をお願いいたします。 それでは、社会科地図につきまして、ご説明申し上げます。
	議長 委員	
	議長	
	全委員 議長	
	議長	
	事務局	

		まず、調査資料の 15 ページをお開きください。発行者番号 2 東京書籍「新編 新しい社会 地図」につきましては、思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう、地図を活用する問いとして、「B e e ’ s e y e」が設けられている。また、細部を明瞭にし、視認性を高められるよう、地形図では、彩度を落とす表記がされているなどの特徴がございます。 続きまして、発行者番号 46 帝国書院「中学校社会科地図」につきましては、地理的な見方・考え方を身につけられるよう、「地図で発見！」が設けられている。また、防災や減災への意識を高められるよう、自然災害についてのページが設けられているなどの特徴がございます。以上でございます。 議長 委員 委員 ありがとうございます。ただ今の説明につきまして、何かご質問、ご意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。 それでは、ご意見を願います。 私は、東京書籍の地図と考えています。小学校の時に子どもたちというのは、地図帳という名称で割と地図なので、教科書の補助的なものというイメージだったのですが、この中学校のものはまさに教科書に近いというか、特に先ほどから東京書籍については、現代的な課題、SDGs だとか、思考力、判断力、表現力をつけるための工夫というのがなされていて、先ほど「B e e ’ s e y e」という言葉が出てきましたけども、この表紙にも出ている蜜蜂、ミツバチーズというチームだそうですけれども、これなんかはまさに寒川の子どもたちにとっては、これを見て、何か楽しそうだなと興味が湧いて、中を見ていくと、ページページにこの蜜蜂たちがいろんな問いを投げかけてくれます。だから、本当に何か図書室の読み物のようなイメージで、なおかつ質問もすごく、これを考えることでもう子どもたちが色々なことを学んでいく工夫がまさになされているなと感じました。また、地図の色彩も落ち着いた色とか、すごく目に優しい感じがする印象がありました。以上です。 議長 委員 ありがとうございます。他にご意見ございますでしょうか。 どちらも幅広い分野にわたって工夫されて記載されています。先ほども東京書籍の地図を読み物のようだと言っていましたけれども、私もこの 1 冊を手元に置いておきたいと思うぐらいすごく素晴らしい内容で、どちらかを選ぶのは難しいかなと思っています。 まず、東京書籍の「新しい社会 地図」なんですが、やはり他の委員がおっしゃったように、ミツバチーズという蜜蜂たちのキャラクターと世界旅行するといった設定が非常に楽しいです。ファシリテーター役としてすごくいい問いかけもしていますので、親しみやすく地図を学べると思います。 また、東京書籍で一番素晴らしいと感じているのは、例えばアジア州の資料だったり、ヨーロッパ州と北アメリカだったりとか、色々なところがあるので、そこの周りの海の中の地形が描かれているところです。地図帳というと比較的陸のところばかり目が行くのですが、海の中の地形
--	--	---

		がある程度可視化されると、SDGsへの思いも強まるのではないかなと思いますので、これからもっと技術が進んで海の中の地形がもっと詳しく表現されることをすごく期待させるような内容です。また、111 ページから 112 ページの江戸東京鳥瞰図では、江戸時代末期の江戸と現在の東京とが上下で見比べられるように描かれています。そこにもキャラクターたちからクイズのような問題が提示されていて、対比を考えることが大変面白いです。 そして、帝国書院の「中学校社会科地図」、こちらも素晴らしくて、一般図、鳥瞰図、また、自然とか農業、工業、人口、歴史などの様々なテーマで地域の特色がつかめる主題図というのが非常に充実しています。特に鳥瞰図は興味を引くデザインで、眺めていて楽しいですね。その地域の地形、陸の高さ、自然、産業、文化など大きな特徴を非常につかみやすいと感じました。フォントなどデザイン性が高いと感じます。というのは、個人的なことなのですが、近視と乱視があり、それに相まって老眼も最近出てきましたので、非常に文字をたくさん並べてあるところを読み取るのがちょっと疲れるんですが、なぜかこの帝国書院の地図は、ぱっと見て読み取りやすい工夫がしてあったので、私のようにちょっと視力が弱い方にとっては見やすいのかなと感じます。「地図で発見！」というコーナーでは、問いが用意されていますけれども、その内容が基礎的なものから発展的なレベルまであって、深く学ぶきっかけになるのではないかと思います。今回、地図に関しては選ぶのが難しかったですという意見です。
	議長	そうしますと、東京書籍と帝国書院、両方を推薦するということでよろしいでしょうか。
	委員	はい。
	議長	承知いたしました。他にはご意見いかがでしょうか。
	委員	帝国書院、東京書籍、2者拝見させていただきました。2者とも構成がしっかりしていて、2者とともに、二次元コードを駆使していると思いました。その2者から私は東京書籍を選びました。 東京書籍におきましては、全体的に全てまとまりがよく、見やすく、学びやすいというのが素直な意見です。地図を活用し、学習しやすくする「Be e's eye」は、楽しみながら学ぶ発想として素晴らしいと思いました。 帝国書院におきましては、小学校で学んだ地図帳の復習、地図の4種類の説明は端的によくまとまっていて、すばらしく思いました。鳥瞰図にイラスト掲載されていて、地図から地域の特徴が変わってくる工夫には感銘いたしました。地理的な思考を養うポイントとして「地図で発見！」を設けているところにより、生徒の地理への関心・興味を高める工夫がすばらしいと思いました。
	議長	最終的には、分量、表記の仕方、最後のページの統計等のまとめ方が分かりやすいことを評価し、私は東京書籍を推薦したいと思います。以上です。 ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

	全委員 議長 議長 事務局	それではここで、社会科地図につきまして、皆さんのご意見を総合して、寒川町の生徒たちにとってふさわしい教科書発行者の傾向を確認しておきたいと思いますが、東京書籍と帝国書院に推薦があったということでよろしいでしょうか。 〈了承〉 それでは、これらの発行者の教科書を推薦するということでまとめさせていただきます。ありがとうございました。 続きまして、数学について事務局より説明をお願いいたします。 それでは、数学につきまして、ご説明申し上げます。 調査資料の 16 ページをお開きください。発行者番号 2 東京書籍「新編 新しい数学～MATH CONNECT 数学のつながり～」につきましては、数学と実社会や職業とのつながりを知り、数学の有用性を実感できるよう、仕事で数学を活用している人が紹介された「数学×仕事」が掲載されている。また、1 人 1 台端末を活用した主体的・対話的で深い学びにつながるよう、ページの右下に 10 種類から成るデジタルコンテンツの二次元コードが表記されているなどの特徴があります。 続きまして、発行者番号 4 大日本図書「数学の世界」につきましては、習熟度に応じ、自分で選択して学習に取り組めるよう、「プラス・ワン」に発展問題が設けられている。また、文化としての数学を知り、生涯学び続ける態度を養っていかれるよう、端末の「MATHFUL」に数学の歴史や生活との関わりが紹介されているなどの特徴があります。 続きまして、調査資料の 17 ページをお開きください。発行者番号 11 学校図書「中学校数学」につきましては、数学で学んだことを広げ、興味・関心を持って学習に取り組めるよう、「T e a B r e a k」に発展的な課題が掲載されている。また、定理や公式など、習得すべき知識が明確になるよう、重要事項のまとめが鍵の印で強調されているなどの特徴があります。 続きまして、発行者番号 17 教育出版「中学数学」につきましては、既習内容を振り返り、単元ごとの学習のつながりが系統的に確認できるよう、巻末に「学びのマップ」が掲載されている。また、習得した知識・技能を活用し、考える力を身につけられるよう、問題解決の流れを示した「学びのプロセス」が表記されているなどの特徴があります。 続きまして、調査資料の 18 ページをお開きください。発行者番号 61 新興出版社啓林館「未来へひろがる数学」につきましては、学習を通して、幅広い知識と教養を身につけられるよう、「数学ライブラリー」では、数学と日常生活や社会との関連が紹介されている。また、他者に伝わりやすい表現の仕方を身につけられるよう、巻頭に「表現する力を身につけよう」が掲載され、随所に、ポイントを示した標識が記載されているなどの特徴があります。 続きまして、発行者番号 104 数研出版「これからの数学」につきましては、
--	-------------------------------------	--

		自立的・協働的な学びについて学び方に対する意識を高められるよう、巻末にチェックシート「学びの自己評価」が設けられている。また、図形を身近に感じ、親しみを持つことができるよう、巻頭に、実際の建築物の写真が掲載されているなどの特徴があります。 続きまして、調査資料の 19 ページをお開きください。発行者番号 116 日本文教出版「中学数学」につきましては、条件を変えて新しい問題をつくる活動を通して、数学を活用する力を育んでいかれるよう、「説明できるかな？」が設けられている。また、主体的に学習に取り組む態度を適切に評価することができるよう、観点評価に結びつく課題として、「学びに向かう力を育てよう」が掲載されているなどの特徴があります。以上でございます。 議長 ありがとうございます。ただ今の説明につきまして、ご質問、ご意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。 委員 それでは、ご意見の方、お願いいたします。 私は、東京書籍と教育出版を推薦します。東京書籍は各章の初めに出てくる、生徒たちが身近な話題で興味を持ちそうな問いかけを作って、よかったと思っています。そこから最初に分かりやすく解決し、次に別の話題で思考していき、最終的には数学的な言葉を使って知識・技能としてまとめていく構成になっています。この流れが学習の目標を達成する過程に沿っていて、とても学びやすく工夫されていると思いました。 それから、生徒の個別に学習したい内容も用意されていて、振り返りや補充学習、発展学習にも使えてよかったと感じています。巻末の「もっと数学をつなげよう」では、今まで学習したつながりと振り返り、学力の定着を図った補充問題など、教師としても使いやすいのではないかと思います。最後、二次元コードを多様に用意してあって、2 年生の 116 ページのところの二次元コードでは、動画、それからシミュレーションと同じようなものを 2 つ用意しており、こういったものも工夫なのかなと感じました。ただ、フラッシュカードをうまく使われているのではないかなと思っているのですが、どれがフラッシュカードの二次元コードが分からなかったのがちょっと残念だったかなと思っています。 教育出版は、教科書の使い方について見やすい表記になっていて、内容が学習の過程に沿っていて、生徒にとっても分かりやすい構成になっていると感じました。たまに出てくるクエスチョンマークやびっくりマーク、これもおもしろいようで面白かったです。こちらの教科書も、生徒たちが日常生活や学習の中で興味を持ちそうな身近な話題を課題としてつくっていて、数学を用いて解決するように学びやすく工夫されていました。「数学の広場」も、言葉の意味の紹介や発展的な内容にも触れていて、分かりやすいと感じました。 教育出版も、色々なヒントが二次元コードの中にあって面白いのですが、ちょっと自分が感じたのでは、二次元コードがページの必ず右側になってい
--	--	--

	議長 委員	て、見開きのページを見てみると、左側のページは必ず、綴じ側の方になっていて、ちょっと読み取りにくかったなと思っています。右側は、外側にあるので読み取りやすかったです。「学びリンク」についても、他の教科でもついていて、教科横断的な学習には役立つかなと思いました。章末やページごとに振り分けられる問題も多くて、非常に見やすく、巻末の資料も非常に必要に応じて使えてよかったかなと思っています。以上です。 ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。 どの教科書も、中学校の数学という内容についての表記部分はそんなに特色がというところは感じませんでしたけど、中でも僕が興味を持ったのは、学校図書と教育出版です。 学校図書の中でよかったなというのは、途中、「T e a B r e a k」というコーナーがありますが、ちょっと難しめな内容が入っていて、数学が好きな子なんかはすごく興味が湧いて、より深く学んでいこうというところがあります。それから、学校図書の中では、中学校3年生のところになると、「高校へのかけ橋」が掲載されており、高校に行くところなるんだ、と数学が得意な子どもだと、ちょっと個人的な部分で興味深いなというふうなことを感じました。 それからもう1つは教育出版ですけど、こちらは寒川の子どもたちにはすごくいいかなと思いました。何がよかったかというと、中学1年生の巻末のところに「学びのマップ」というのが入っていて、そこには小学校から中学校への連携があり、小学校の時にこういうことで習ったんだよ、というのが出ています。ただ、こういうのやったよと、こういうふうにこのページを見ただけで終わっちゃうのでは意味がないと思うのです。中学校も授業時数とかの関係で難しいかもしれませんが、例えば小学校でも、小学校何年生の時、例えば、「2年生の時にこういうのやったよね。ちょっと思い出してみよう」と言うだけでも、導入になって学びに入りやすくなっていくと思うので、ぜひ中学校の先生もこれを活用していただいて、折々で、「小学校の時に先生からどんなふうに習った？」とか、「どういうふうな授業を受けたかな？」ということ聞くだけでも、数学が苦手な子どもたちも、何か小学校の時のことを思い出して、「あ、こういうふうにやったよな」と思いながら数学の授業に入っていくって何かすごくいいなと個人的に考えました。以上です。 ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。 全者拝見させていただきました。全者各々表記が工夫されており、見やすい印象を受けました。その中から、東京書籍、教育出版、新興出版社啓林館の3者に絞らせていただき、その中から教育出版を選びました。 東京書籍におきましては、二次元コードを利用したコンテンツメニューが充実しており、自主学習にも対応している点が素晴らしいと思います。身近な話題で課題を作成しており、具体性が分かりやすいと思いました。ペットボトルキャップの課題もあり、興味が自然と湧いて楽しみながら学習できる
	議長 委員	

		と思いました。 教育出版におきましては、単元の最初に身近な話題があり、数学が苦手な生徒も、学習に抵抗なく入れると思いました。各章ごとに統一した色合いで、見やすさに工夫されているとも思い、様々に分析が可能な話題を扱い、生徒の気づきも大切にしているところも良いと思います。全体的に見ても、内容や構成が親しみやすく、各ページごとに考えることができる構成が素晴らしいと思いました。 新興出版社啓林館におきましては、数学と日常生活や社会との関連が表記されており、学習に入りやすい構成が工夫されていてよいと思いました。生徒個々の学習状態に応じた「入学問題にチャレンジ」はとてもいい発想だと思います。単元ごとに足跡が掲載され、振り返りもできる学習のしやすさを感じました。 最終的に、3者ともそれぞれ工夫がされており、甲乙つけ難く思いましたが、学びの入り口に工夫がされ、気づきも大切にして構成されていた教育出版を推薦したいと思います。以上です。
	議長 委員	ありがとうございました。あと他にはいかがでしょうか。 重なるところが多くなりますが、やっぱり自分が学生るとき、一番開く率が少ない教科書だったんじゃないかなと振り返ると、ちょっと恥ずかしいですが、やっぱり苦手意識が非常に強い教科でしたので、今回改めて教科書を見させていただきながら、中学生が次の段階に行く時に数学がどうつながっていくのかというのが見てとれる教科書だったかなというふうに感じているところです。その中でも私は、東京書籍、教育出版の2者が、今の寒川の子どもたちにはいいんじゃないかと感じました。
	議長	今お話ししたとおり、やはり数学の授業の中でただ問いを解いていくということではなく、社会に数学はどうつながっていくのかというのが、この2者は大変分かりやすく、考えられる教科書だったのかなと感じております。そういう意味では、やはり子どもたちがこれから社会に出ていく中で、ただ問いを解いていくだけではないというつくりが非常に良かったと感じています。身近なものに数学がつながっていくというのが非常に分かりやすかったなというところで、この2者を推薦したいと思っています。以上です。
	全委員 議長	ありがとうございました。他にいかがでしょうか。よろしいですか。 それでは、ここで数学について、皆さんの意見を総合して、寒川町の子どもたちにとってふさわしい教科書発行者の傾向、これを確認しておきたいと思いますが、東京書籍、学校図書、教育出版、この3者に推薦があったということではよろしいでしょうか。 〈了承〉 それでは、これらの発行者の教科書を推薦するということでまとめさせていただきたいと思います。ありがとうございました。 さて、時間が開始から2時間近く経過しております。ここで10分間の休憩

		時間を取らせていただきたいと思います。では、よろしくお願いいたします。休憩でございます。 (休憩 10 分間)
	議長	それでは、休憩を解きまして、議事を再開したいと思います。
	事務局	理科につきまして、事務局より説明をお願いいたします。 それでは、理科につきまして、ご説明申し上げます。 調査資料の 20 ページをお開きください。発行者番号 2 東京書籍「新編 新しい科学」につきましては、科学への興味・関心を高められるよう、各学年に「科学の本だな」として本の紹介が掲載されている。また、学びに向かう力の育成を図ることができるよう、学習前後で自分の考えの変容をまとめる「Before & After シート」にアクセスできる二次元コードが掲載されているなどの特徴があります。 続きまして、発行者番号 4 大日本図書「理科の世界」につきましては、キャリア教育の視点から学びを充実できるよう、理科と職業の関連についてのコラム「Professional」が掲載されている。また、日本の伝統や文化に関する教育の充実が図られるよう、「日本を知る」マークとして内容の紹介が掲載されているなどの特徴があります。 続きまして、調査資料の 21 ページをお開きください。発行者番号 11 学校図書「中学校 科学」につきましては、科学的な考え方の理解を深めることができるよう、コラム「理路整然」が掲載されている。また、多様な生徒に対応することができるよう、全ページをウェブ化し、総ルビや多言語化するための二次元コードが掲載されているなどの特徴があります。 続きまして、発行者番号 17 教育出版「自然の探求 中学理科」につきましては、探究する力を身につけられるよう、探究の進め方が折り込みに設けられている。また、学習の定着と学力の向上を図られるよう、単元末が「要点と重要用語の整理」、「基本問題」、「活用問題」の順に構成されているなどの特徴があります。 続きまして、調査資料 22 ページをお開きください。発行者番号 61 新興出版社啓林館「未来へひろがるサイエンス」につきましては、他者との考えを比較し、多様な観点から批判的思考を深められるよう、「それってホント？」が節末に掲載されている。また、多様な意見を出し合い、思考力、判断力、表現力等の育成を図ることができるよう、「みんなで探Qクラブ」が単元末に設けられているなどの特徴があります。以上でございます。
	議長	ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、何かご質問、ご意見ございますでしょうか。よろしいですか。
	委員	それでは、ご意見をお願いいたします。 まず、理科の教科書は昔と全然違って、紙の質も変わってきましたし、と

		でもきれいで、実写の写真とかイラストがとてもリアル感があって、いいと感じました。その中で私は、学校図書と新興出版社啓林館を推薦したいと思います。 学校図書は、大単元の前の1ページに収められている「学びの足跡」、「振り返ろう」、「つなげよう」あるいは「Can-Doリスト」は、よくまとまっていて分かりやすいです。特に「Can-Doリスト」は、充実してきて学習の見通しが立てやすく、課題が明確に示されているところが良かったです。最後にここに戻って印をつけて確認するところがあるので、資質・能力、こういったものの意識が習得できてよかったかなと思っています。教科書の中では日常生活と学習の関連性がとてもよく示されていました。実験・観察を探究としてまとめて、課題から検証、結果から考察へと程よく導かれていたところがよかったと思っています。 特に、実験の写真や図、絵がとても丁寧で分かりやすく、非常に感動しました。特にたくさんのものを提示しているのではなく、補充資料については、ページの上に探しやすいようについていて、下にも学習のポイントが示されているところがよかったと思います。文章量も程よくまとまっていて、寒川の生徒たちにはとてもいい、深まる教科書だなと思っています。 「理路整然」のコラムも、科学的な知識や考え方を知ることができて、とてもよかったと思っています。先ほど数学のところでも言ったんですが、二次元コードが、この教科書はどちらも全て外側に置いてあって非常に読みやすかったです。ページの右側に置くと、構成上印刷のときには非常に楽かと思うんですけども、やっぱり外側にあると二次元コードが読み取りやすいので、こういう教科書の作り方はとてもいいなと感じました。それで最後に、「思考をさらに深める」では、高校入試や全国学力・学習状況調査にも役立つようにまとめられていましたね。 それから、新興出版社啓林館は、比較的イラストや図が多く使われていて、実際の写真よりもこのイラストや図の方が分かりやすく示されていたのが良かったです。教科書を見ながら説明ができる、そういう使いやすい教科書ではないかと思っています。「なるほど」や「探Qラボ」、「深めるラボ」や「発展」などのようにコラム的な内容が特に多く紹介されて、とても充実していました。特に科学史は、理科を勉強するうえで、それを科学というところに結びつける歴史的な科学の様子も分かってよいなと思っています。「アクション」というところで考えてみることで、理科の有用感を実感できて、深い学びにつながると感じました。こちらも二次元コードが非常に豊富で、程よく配置されていて良かったです。そういった意味で、単元の一番最後に学習内容を活用させて探究的に取り組める内容も配置されているところが良かったなと感じています。以上です。
	議長 委員	ありがとうございました。他にご意見ございますでしょうか。 理科の教科書を見させていただいて、写真や図が素晴らしくて、自分自身

	が好きなので、読み物として何かもう時間が過ぎてしまうような感じであったんですけども、楽しませていただきました。 まず、私が好きだなと思ったのは大日本図書でよかったというのは、周期表があるんですけど、周期表にその物体が具体的にどういうものに使われているかというのが写真つきで載っていたんですね。自分自身が理科の勉強、をしていた時に、やっぱりこれを知りたかった。やっぱり文字だけではなかなか入ってこなくて、その物質が実際の生活の中でどういうふうに使われているのかなというのが分かって、「日常の中にやっぱりいろいろあるんだな」というのがすごく入ってきた記憶があります。大日本図書の3年生の巻末の方の361ページに載っているのがあったので、何かこういうところから、子どもたちも科学というものが身近に感じられたりするのではないかなと思いました。 あとは、東京書籍の1年生なんですけど、26ページにサイエンスアーティストの元気さんが載っているんですね。これはユーチューブとかもよくやっていらっしゃる方なんですけど、理科好きの子どもたちは結構見ていたりするんですよね。理科のユーチューブで発信している人がいるよというようなところから、理科に興味を持っていくという、その道筋もあったりするのかなと思うと、何か教科書の中でこういうのも紹介してくださっているんだなというのはすごく新鮮でした。 あと、本当に甲乙つけ難いですけども、寒川町の子どもたちがというところで考えたときに、新興出版社啓林館の1年生の教科書の中に、「防災・減災など」というのがありまして、そこで「津波に備える」というところがありました。寒川は海に近いですし相模川もあり、水害と割と隣り合わせな地域でもあるのかなと考えたときに、教科書の中で身近な災害というところで津波に触れられるということが、子どもたちの安全にとって必要なことなのかなと思ったので、子どもたちの安全を考えて科学的に考えていくというようなところで言うのであれば、その題材として入っていた新興出版社啓林館がいいのかなと思いました。以上です。 議長 委員 議長 委員 そうしますと、推薦としては新興出版社啓林館でよろしいですか。 そうですね、新興出版社啓林館です。 分かりました。ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。 どの教科書も美しいのと学習の内容がよく整理されていて、基本の問題、応用の問題というのが適度な分量で用意されている、すばらしい教科書ばかりだと思いました。 その中で、冒頭でもお話しさせていただいたんですけども、教科書で学びとるだけではなくて、アクティブラーニングに時間を取ってもらいたいという思いがあります。まず、教科書を開いたときに、何をつかんでいくのかなという目的が視覚的につかみやすいといった教科書として見たときに、大日本図書と東京書籍を選ばせていただきました。
--	---

		それで、特に東京書籍を推薦しますけれども、疑問を発見する「レッツスタート」からどんどん計画を立てたり、仮説をたてたりして、考察のポイントまでの進んでいき方が非常に分かりやすくプロセスが踏まれていますので、学習者にとっては、何を学び、学びの過程で何について考えていくのかということがつかみやすい内容なんじゃないかなと思ったからです。イラスト、写真、大事な単語の表示も見やすい、大事なところが分かりやすいと感じました。 とてもよいと思ったのが、各学年の巻頭ですけれども、レポートのまとめ方を教えているところが大変よかったです。観察・実験の結果を発表するときのまとめ方、それから、情報収集の仕方、そして、参考文献を示すことなどが書かれているのですけれども、また、議論の仕方では、発言のマナーや発言の仕方の2つも載せられていて、このようなスキルを身につけて、学年が進んだとき、社会に出たとき、様々な分野で研究とか仕事をするときに大変いい習慣になるかと思いましたので、東京書籍を選びました。以上です。 ありがとうございます。あと他にはいかがでしょうか。よろしいですか。 それではここで、理科について、皆さんのご意見を総合して、寒川の生徒たちにとってふさわしい教科書発行者の傾向を確認しておきたいと思います。東京書籍、学校図書、新興出版社啓林館、この3者に推薦があったということによろしいでしょうか。
	議長	
	全委員	〈了承〉
	議長	それでは、これらの発行者の教科書を推薦するということでまとめさせていただきます。
	議長	それでは続きまして、音楽科一般について事務局より説明をお願いいたします。
	事務局	それでは、音楽科一般についてご説明申し上げます。 まず、調査資料の23ページをお開きください。発行者番号17 教育出版「中学音楽 音楽のおくりもの」につきましては、曲に対するイメージを膨らませ、音楽表現を創意工夫したり思考を深めたりすることができるよう、情景の映像が二次元コードに示されている。また、表現及び鑑賞活動の支えとなるよう、様々な情景や楽器の写真や資料が掲載されているなどの特徴がございます。 続きまして、発行者番号27 教育芸術社「中学生の音楽」につきましては、主体的な学びを引き出せるよう、歌唱曲を繰り返し練習できるメロディーの伴奏とともに、鑑賞曲を学ぶために必要な情報が二次元コードに掲載されている。また、生活や社会における音楽の意味や役割と関連づけて学ぶことができるよう、音楽を利用するときに気をつけることや、音や音楽の果たす役割についての資料が掲載されているなどの特徴がございます。以上でございます。

議長	ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、何かご質問、ご意見ございますでしょうか。よろしいですか。
委員	それでは、ご意見の方、お願いいたします。 どちらの出版社の教科書も、曲のイメージをつかみ取りやすい美しい写真があったので、そういった工夫がきれいだなと思いました。 まず、教育出版社の「音楽のおくりもの」ですが、必ず勉強する「小フーガト短調」のところで、この曲に欠かせないパイプオルガンの響きの荘厳さを感じ取るためには、本当の音は聴いていないですけど、大きなパイプオルガンの写真というのが非常に音をイメージしやすいと思いました。また、フーガの説明としまして、2・3上巻の39ページに主題と応答の構成の図式があります。これはバロック時代のバッハの音楽は必ず図式化して構成を理解するものですが、それがあるので、フーガの理解がしやすいと思いました。 また、二部形式の説明として、「アクティブ」というページですが、 「浜辺の歌」と「早春賦」の2曲を例に挙げて、88ページの楽典のページも参考にしながら二部形式の説明があります。例えば小文字のaダッシュをラージAとする。小文字のbダッシュをラージBとする。だから、AとBがあるから二部形式だということを、図にしてあげないと二部形式といっても理解がなかなかできないのですけれども、そういう図があることで、この二部形式を理解すると、一部形式も三部形式もすぐに理解ができますので、この説明も非常に親切だなと思いました。 また、楽典は、3冊ともに88ページにありますけれども、色使い、説明が分かりやすいです。特によかったのは、音符の長さを数字とか分数で示すだけじゃなくて、ここからここまでと物差しのように色をつけて長さを表現してあげると、なかなか理解できなかった生徒たちも、すごく格段とこの方法によって理解が進みますので、これもいい説明だと思います。教育出版社の方は、楽典に対するしっかりとした説明がありますので、非常に楽典にとって理解するにはよい教科書だと思います。 もう1者、教育芸術社の「中学生の音楽」ですが、教材例の横にある「学習のポイント」とキャラクターの吹き出しに書かれているアドバイスが非常に的確で理解が進みます。例えば「帰れソレントへ」、どちらもあると思うのですが、イタリアのカンツォーネの教材では、ナポリ湾に面した美しいまちソレントの景色が大きく載せられています。また、イタリアのどの辺りなのかという地図も分かりやすいです。歌の魅力を感じ取ることができると思います。 また、「ブルタバ（モルダウ）」の曲では、スメタナが作曲した時代は、チェコがオーストリアの強い支配を受けていたから独立を強く願っていたので、祖国への強い思いが込められた曲であるということが分かりやすくなるように、作曲された時代のヨーロッパの地図と現在のヨーロッパの地図の対

		比の比較が、これ、どちらの教科書にもありますけれども、よりはっきりと分かりやすく載せてあったので、「ブルタバ」の理解も進むと思いました。 また、オペラについては、写真によってなんですけれども、音楽、文学、演劇、舞踊、美術などが一体となった美しさと迫力を見て取れること、オペラの上演には大勢の人たちが関わっていることが分かります。ということで、音楽の表現をするにあたってはイメージをつかみ取りやすい的確な説明があると思います。 楽典を勉強するには教育出版社が優れていると思います。表現力という意味では、教育芸術社がいいと思います。どちらもよい教科書だと思い選べませんでした。どちらも素晴らしいと思います。 では、両方推薦ということでよろしいですか。 はい。 承知しました。ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。 私は、教育芸術社を推薦させていただきます。この本の中に谷川俊太郎さんの「春に」が入っていたり、先ほど他の委員からもございましたように、非常になじみが深いですね。坂本九さんの「上を向いて歩こう」だとか「涙そうそう」だとかなじみのある曲が多く紹介されていて、子どもたちが明るく歌いやすい、歌いたくなるような作品が多かったなと思います。そういう意味で、教育芸術社の方を推薦させていただきます。 もう一つあって、角野隼斗さんという人が1年生の1ページ目に写真で載っていて、その生き方が書いてあって、一番最初からすごく音楽に興味を持たせるような工夫がされているなと感じました。そういう意味で、教育芸術社を推薦させていただきます。
議長 委員 議長 委員		
	議長	あと他にはいかがでしょうか。よろしいですか。 それではここで、音楽科一般につきまして、皆さんのご意見を総合して、寒川町の生徒たちにとってふさわしい教科書発行者の傾向を確認しておきますが、一つは教育出版、もう一つが教育芸術社に推薦があったということでよろしいでしょうか。
	全委員 議長	〈了承〉 それでは、これらの発行者の教科書を推薦するということでまとめさせていただきます。ありがとうございます。
	議長	それでは続きまして、音楽科の器楽合奏について、事務局より説明の方をお願いいたします。
	事務局	それでは、音楽科器楽合奏についてご説明申し上げます。 調査資料の24ページをお開きください。発行者番号17教育出版「中学器楽 音楽のおくりもの」につきましては、楽曲の演奏を創意工夫できるよう、息遣いを視覚的に表現する「アーティキュレーション」が掲載されている。また、学校の実情に応じてリコーダー学習に取り組めるよう、ソプラノとア

		ルトの楽譜が併記されているなどの特徴があります。 続きまして、発行者番号 27 教育芸術社「中学生の器楽」につきましては、主体的・対話的で深い学びにつながるよう、アンサンブルの学習の中で、パートの役割を考えたり、音の重なり方の特徴を捉えたりできる「学びのコンパス」が掲載されている。また、我が国の伝統的な音楽に親しみ、その良さを実感しながら創意工夫できるよう、和楽器の学習活動が掲載されているなどの特徴があります。以上でございます。
	議長	ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、何かご質問、ご意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。
	委員	それでは、ご意見をお願いいたします。 どちらの教科書も楽器の写真が非常に鮮明で分かりやすく、演奏しているところの手元もよく写されているので、楽器に親しみが湧く内容であり、やってみようかなというふうに思いやすい、よい教科書だなと思いました。 教育出版社の方は、巻末にあるギター・アンド・キーボードのコード表がカラーで示されていて、非常にコードの勉強がしやすいなと思いました。
	議長	それから、教育芸術社ですけれども、特によかったのが打楽器のところなのですね。ボンゴ、コンガ、カホンなどが写真だけでなく、こうやって演奏するのだよという、演奏しているところの写真での説明があるのが良かったです。また、簡単なので、カスタネット、タンバリン、鈴って演奏が簡単なので、割とちゃんとした使い方って知らなくて、よくタンバリンの穴に親指を入れちゃうんですけど、実はそうではなく、親指入れるところじゃないので。そういう細かいところがちゃんと写真で、こうやって使うのだよって分かるんですね。カホンも、ただ、四角だけあるとどうやって音を出すのかなと思っちゃうんですけど、実際に座ってこうやってたたくんだよという写真があるので、器楽には親しみやすいのかなという意味で、教育芸術社がいいかなと思いました。
	議長	ありがとうございます。そうしますと、教育出版と教育芸術社のどちらを推薦しますか。
	委員	どちらもいいですけど、教育芸術社の方を推薦します。
	議長	承知しました。ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。
	委員	私もどちらかという、教育芸術社の方がよいかなと思いました。紙面の文字とかイラストとか写真が分かりやすく、主体的・対話的で深い学びにつながるよう、アンサンブルの学習の中で「学びのコンパス」というのが、先ほども出ましたけれども、掲載されているのがよかったかなと思います。 それと、世界の楽器の多様性に触れながら、諸外国の音楽文化に対する理解を深められるとともに、我が国の伝統的な音楽に親しむ、そんなこともできるような、実感しながら創意工夫ができるような内容になっていると思います。和楽器って、私もこれを見て、こんなに色々あるんだなということで、すごく興味深く拝見させていただきました。日本古来から伝わるそういった

		楽器にも興味を示すということで活動も充実しているかなと思います。それと、なじみのある楽曲が多く入っているのも、生徒たちが取り組みやすいと考えます。 ちょっとこれ、余談かもしれないのですが、音楽の教科書を全部、4冊並べると1つの絵になるというところが、すごい編集者さんが何か、そういうのがちょっと魅力的だなとも感じました。以上です。 ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。 私は教育芸術社を推薦します。そちらの中にある楽曲が非常に扱いやすい、なじみ深い選曲がなされていると思っています。また、動画での説明もたくさんあって、文字でなかなか理解しようというものではない教科だと思いますので、そういった意味ではこの動画が非常にいい役割を果たしているかなと思っています。なので、教育芸術社を推薦したいと思います。 ありがとうございました。あと、他にはご意見いかがでしょうか。 そうしますと、ただいま推薦がございましたのは教育芸術社1者でございますが、よろしいでしょうか。 それでは、ここで音楽科の器楽合奏について、皆様のご意見を総合して、寒川町の生徒たちにとってふさわしい教科書発行者の傾向を確認しておきますが、教育芸術社に推薦があったということでよろしいでしょうか。
	議長 委員	
	議長	〈了承〉 それでは、教育芸術社の教科書を推薦するということでまとめさせていただきます。ありがとうございました。
	全委員 議長	
	議長	それでは続きまして、美術について事務局より説明の方をお願いいたします。
	事務局	それでは、美術についてご説明申し上げます。 調査資料の25ページをお開きください。発行者番号9開隆堂出版「美術」につきましては、多様な見方や考え方の育成を図れるよう、掲載作品には、「作者のことば」として、制作者の意図や工夫について取り上げられている。また、中学生の興味や関心が高められるよう、身近な作品や著名なアーティストが掲載されているなどの特徴があります。 続きまして、発行者番号38光村図書出版「美術」につきましては、表現と鑑賞の学習内容を相互に関連づけて学べるよう、各題材の初めに「表現」と「鑑賞」が掲載されている。また、日本の伝統文化への興味関心を高められるよう、質感の異なる特殊な紙が使用されているなどの特徴があります。 調査資料26ページをお開きください。続きまして、発行者番号116日本文教出版「美術」につきましては、造形的な視点で身の回りや社会を捉えることができるよう、各題材に「造形的な視点」が示されている。また、ICT機器を利活用しながら理解を深められるよう、二次元コード「学びのはじめに」が全ての題材に設けられているなどの特徴があります。以上でございます。

		学びを深めていくというつくりも非常に長けている教科書が多かったので、実際のところ、これに絞りたいというのがちょっと今、自分の中では難しいかなと考えています。 ただ、今まで使ってきている教科書の流れを考えると日本文教出版の教科書がいいかなというところもありますし、他の委員がおっしゃったように、本当に最初に出会う教科書として、触れて、まず感動できる教科書というところでの開隆堂出版、また、光村図書出版の方も、古典的なものも当たり前ですけど、先ほど触れたような漫画、アニメーションを多様に使用していただいて、子どもたちの食いつきは多分非常にいいものだろうというのは見えていて感じる場所です。やっぱり、日本の文化も今非常に大事と言われてきていますので、その部分も3者とも丁寧に作品に触れてくださっていますので、そういう意味では、すみません、3者ともすばらしい教科書だなというふうに思っていますので、3者を推薦できればなと感じております。 ありがとうございます。では、他にはいかがでしょうか。よろしいですか。 それではここで、美術について、皆様のご意見を総合して、寒川町の生徒たちにとってふさわしい教科書発行者の傾向を確認しておきたいと思いますが、開隆堂出版、光村図書出版、そして日本文教出版に推薦があったということでしょうか。
	議長	
	全委員	〈了承〉
	議長	それでは、この3者の発行者の教科書を推薦するということでまとめさせていただきます。
	議長	それでは続きまして、保健体育につきまして、事務局より説明をお願いいたします。
	事務局	それでは、保健体育につきまして、ご説明申し上げます。 まず、調査資料の27ページをお開きください。発行者番号2東京書籍「新編 新しい保健体育」につきましては、健康や安全に関する事柄を生涯にわたって役立つスキルとして身につけられるよう、「巻末スキルブック」として掲載されている。また、学習を深め、広げられるよう、動画教材に加え、思考ツールやシミュレーションなどが活用できる「Dマーク」コンテンツが設けられているなどの特徴があります。 続きまして、発行者番号4大日本図書「中学校保健体育」につきましては、知識の定着を目指し、左ページが学習内容をまとめる本文、右ページが知識を深める資料のレイアウトになるよう、統一して構成されている。また、小学校、中学校、高等学校の校種間において系統性のある学習ができるよう、関連する学習内容が掲載されているなどの特徴があります。 調査資料の28ページをお開きください。発行者番号50大修館書店「最新中学校保健体育」につきましては、多様性を尊重する態度を身につけられるよう、『性』についての固定的な考え方に気づこう』の特集資料が掲載され

		ている。また、保健分野と体育分野を関連づけて考えられるよう、「保健の窓」、「体育の窓」が設けられているなどの特徴があります。 続きまして、発行者番号 224G a k k e n「新・中学保健体育」につきましては、学んだことを基にして実践的な課題に取り組めるよう、各単元のまとめとして「学びを生かす」が掲載されている。また、正しい知識を身につけ、がんと共に生きることについて考えられるよう構成されているなどの特徴があります。以上でございます。
	議長	ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、何かご質問、ご意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。
	委員	それでは、ご意見お願いいたします。 4者拝見させていただきました。4者とも単元ごとに分かりやすく掲載されていましたが、私はG a k k e nを選びました。G a k k e nにおきましては、各ページ左側が本文、右側が資料という構成になっており、見やすい印象でした。資料の項目も多く、疑問がすぐに解消できるように工夫されていて、とてもよかったと思います。コミュニケーションの大切さも細かく掲載されていて、理解しやすいと思います。章ごとにまとめのページがあり、自身でチェックができ、今後の実生活で参考にしやすく、すぐに活用できることがとてもよい構成だと思いました。
	議長	私は、実生活に活用しやすいと感じた、G a k k e nを推薦したいと思います。以上です。 ありがとうございました。他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。
	委員	それでは、私の方からは、大修館書店さんの方を推薦させていただきます。保健体育の学習って、この教科書を見ていると本当に幅広いなと思いました。そういう分野にわたってありますが、でも、大事なことがそれぞれのところにうまく散りばめられているというところが大切なことだと思います。そういう意味で、それらの学習がバランスよく配置されている、あるいは学習の流れも分かりやすくできているということで、思春期を過ごす寒川の子どもたちには、私は大修館書店さんの方が適しているのかなと感じました。それで推薦させていただきます。 あと、他にいかがでしょうか。 私は東京書籍を推薦したいと思います。主体的に考えて学習を進められるよう、1時間の主な流れが4つのステップでとても分かりやすく示されていました。そして各章の初めに、この章で学習することというのが提示されまして、小学校で学習したこと、高校で学習することがまとめられているという、学びの系統性が確認できるのもいいかなと思いました。 あとは、どの教科書も同じですけども、こちらら動画や思考ツール、シミュレーションが活用できる「Dマーク」コンテンツがあるのも評価できましたし、「巻末スキルブック」が、健康や安全に関する事柄を生涯にわたって役立たせることができるように工夫されていました。ですので、紙面の構成が

	議長 委員	よくまとまっていて、視覚的にも生徒が学習内容を理解しやすい教科書だなと思いました。以上です。 ありがとうございました。あと他にはいかがでしょうか。 私は東京書籍を推薦したいと思います。小中とのつながり、こういったものを含めて、これから先も含めた生涯にわたって役立つスキル、こういったものが身につくよう、学んだ知識を実生活に生かせることができるような、そういった生活に関連した情報を提供する読み物などが非常にたくさんあってよかったかなと思っています。以上です。
	議長	ありがとうございました。あと、他にはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。 それではここで、保健体育につきまして、皆様のご意見を総合して、寒川町の生徒たちにとってふさわしい教科書発行者の傾向を確認しておきたいと思っています。まず、東京書籍、大修館書店、そして、G a k k e n に推薦があったということでよろしいでしょうか。
	全委員 議長	〈了承〉 それでは、これらの発行者の教科書を推薦するということでまとめさせていただきます。ありがとうございました。
	議長	それでは続きまして、技術・家庭科の技術分野について事務局より説明をお願いいたします。
	事務局	それでは、技術・家庭科技術分野についてご説明申し上げます。 調査資料の 29 ページをお開きください。発行者番号 2 東京書籍「新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を T e c h n o l o g y」につきましては、技術分野の学習の意義や大切さが理解できるよう、ガイダンスにおいて技術と生活のつながりや社会の関わりが掲載されている。また、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるよう、豊富なデジタルコンテンツが準備されているなどの特徴があります。 続きまして、発行者番号 6 教育図書「新 技術・家庭 技術分野 明日を創造する」につきましては、日本の伝統・文化を継承していくことの大切さに気づけるよう、「技ビト」で伝統文化が掲載されている。また、基礎技能を定着させ、安全で正確な製作・制作・育成を行えるよう、別冊の「スキルアシスト」や「設計・計画シート」などの補助資料が付されているなどの特徴があります。 続きまして、調査資料の 30 ページをお開きください。発行者番号 9 開隆堂出版「技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて」につきましては、他者を尊重し、多様性を認め合うことができるよう、家族や友人、地域の人たちの触れ合いや関わりが描かれている。また、小学校や他教科とのつながりを系統立てて学べるよう、各分野の冒頭に他教科や小学校との関連を示した一覧表が掲載されているなどの特徴があります。 以上でございます。

議長	ありがとうございました。ただ今の説明につきまして、何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。よろしいですか。
委員	それでは、ご意見お願いいたします。 私は、東京書籍と教育図書を推薦します。どちらも、非常に密接な生活や社会にある課題を設定しやすい工夫がされていて、学習の内容も寒川の生徒たちには学習しやすいという分量もあると感じました。 その中で、東京書籍は説明が非常に簡潔で、実践的・体験的な発問が多く、思考力・判断力・表現力を育成する工夫がなされていると、そういったポイントをしっかりと押さえてあるという構成で、とても感心しました。問題解決例では、日常的な課題をしっかりと技術の授業で培った力でどのようなことができるのかを考えることによって、常に発見する力と課題を設定する能力が身につくように使える教科書だと思っています。教科書として内容も精選されていて、ページ数も少なくて扱いやすいのではないのでしょうか。第2編の栽培では、身近な栽培技術が多数示されており、技術を実感しやすくなっているのが良かったです。「すごいぞ技術」では、それぞれの技術の匠の活躍が紹介されていて、どんな分野で技術の学習が生かされているのかが分かって、とても子どもたちには参考になると思いました。 教育図書は、技術という授業が小学校にはありませんでした。中学校にとって新しい教科となる教科書では、何を学習して、どのような力をつけたいのか、巻頭のところでしっかりと資質・能力の3つの柱として整理され、系統立てられているところが良かったです。実際の生活に即した表現や資料が多く、生徒にとっても分かりやすい構成だと思います。技能書の「スキルアシスト」が付属していて、分かりやすく実践的でした。また、動画なども使って、様々な考え方に触れることができるようになっていて、見方・考え方を育成する学習をしやすい工夫がなされていました。作業では、しっかりと教科書の中で分かりやすく示され、二次元コードの動画では、作業を示すことだけでなく、失敗するときの例も提示されていたのが良かったと思います。 先輩からのメッセージというのが全国から紹介されていましたが、神奈川県の高校が2校もこの中に入っているのは、身近でよかったかなというふうに思っています。ちょっと残念だったのが、巻末の「博物館に行ってみよう」という、非常になかなか資料としては必要なことだと思うのですが、神奈川県では2つ紹介されました。そのうちの東芝未来科学館が、今回一般には公開されなくなったので、そこに提示されているのはこれからどうするのかというのがちょっと心配でした。以上です。
議長 委員	ありがとうございました。他にいかがでしょうか。 私たちの社会は、テクノロジーの恩恵を受けて大きく発展していき、急激なテクノロジーの進化でビジネスや社会というのが大きく変わりつつあるわけです。その一方で、サステナビリティという問題が深刻さを増してい

		て、テクノロジーの進化とサステナビリティというその2つの潮流が未来につながっていくと思うのですけれども、その未来を担う中学生にとって大事な教科だなということを、教科書を読ませていただいて本当に強く再確認をいたしました。 テクノロジーの進化によって技術分野の学びがすごくボリュームが増えたのですよね。重要度も増しているわけですが、一方で残念なことに授業数は年に35回、週1回しかないというところを考えますと、どの出版社も幅広い分野で分かりやすく図解とともに、問題解決までつながるように導いているのですばらしいんですが、授業時間の制限がある中で中学生にとって分かりやすい点ということを考えました。 開隆堂出版も大変分かりやすかったんですけれども、私は教育図書の「技術分野 明日を創造する」を推薦いたします。「めあて」で学ぶ方法を理解し、「見つける」でキャラクターの吹き出しを読むことでうまく興味を引き出しています。そして、「学ぶ」のところで大事な言葉に色がついた太い文字を使ってポイントが分かりやすいです。それから、簡潔なイラストによって構造物を理解できるように示されていて、実際にそれがどういうところで使われているかという写真で対比して示している点も、なるほどなと一目で分かる工夫でした。そういったイラストと写真の対比であったり、キャラクターの使い方、言葉がけが学習意欲を高めると感じましたし、一番いいのが「スキルアシスト」という別冊がついていて、安全に正確に基礎技能を行うことができますし、例えばキー入力も「お助けガジェット」というのが裏表紙のところにありまして、とても便利で活用しやすいなと思いました。そういった理由から、教育図書を推薦したいと思います。
	議長	ありがとうございます。他にご意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。 それではここで、技術・家庭科の技術分野につきまして、皆様方のご意見を総合して、寒川町の生徒たちにとってふさわしい教科書発行者の傾向を確認しておきたいと思いますが、一つは東京書籍、そして、教育図書に推薦があったということによろしいでしょうか。
	全委員 議長	〈了承〉 それでは、この2つの教科書を推薦するということでまとめさせていただきます。
	議長	続きまして、技術・家庭科、家庭分野について、事務局より説明をお願いいたします。
	事務局	それでは、技術・家庭科、家庭分野についてご説明申し上げます。 調査資料の31ページをお開きください。発行者番号2東京書籍「新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して」につきましては、将来を見据えた職業観、勤労観を育めるよう、題材ごとに「プロに聞く！」が掲

		載されている。また、カラーバリアフリーの観点から、彩度を下げたイラストや図が採用されているなどの特徴があります。 発行者番号6 教育図書「新 技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する」につきましては、主体的・対話的で深い学びの実現につながるよう、題材ごとに「自立度チェック」が設けられ、「見つめる」、「学ぶ」、「やってみよう」、「ふり返る」の流れで構成されている。また、重要箇所やSDGsとの関連が理解できるよう、個別マークが示されているなどの特徴があります。 調査資料の32ページをお開きください。発行者番号9 開隆堂出版「技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ」につきましては、思考力、判断力、表現力等を身につけられるよう、題材ごとの「学習のまとめ」の中に振り返りの問題が掲載されている。また、食物アレルギーについての理解を深められるよう、調理実習におけるアレルギー物質を含む材料について、文字の背景が黄色で表記されているなどの特徴があります。以上でございます。
	議長	ありがとうございます。ただ今の説明につきまして、何かご質問、ご意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。
	委員	それでは、ご意見の方、お願いいたします。 私は教育図書と開隆堂出版を推薦します。教育図書は、各章の初めの導入に「自立度チェック」というのがあって、自分を見つめながら学習に向かうことができるように、「考えてみよう」、「やってみよう」、「調べてみよう」、「話し合ってみよう」ということなどで社会人の方の話が載っていたり、身近な生活の課題や、自主的に自分と照らし合わせたりして考えやすいように工夫され、実践的に学習するようになっているところがとてもよかったと思います。そして、「学びを生かそう」で取組に結びつけている。こういった流れ、授業の流れがとてもいいと感じました。 補足資料として二次元コードがあって、動画ばかりでなく、ワークシートやウェブとともにリンクしながら使いやすくなっていて、具体的な二次元コードの内容がコードの横に示されている、こういったものがとても分かりやすく、学んだことの活用に使えるのではないかなと思いました。このように二次元コードの横に何がそこに書いてあるかというのがちょこっと書いてあると全て分かりやすいなというような感想です。B編の3章で資料集と兼ねていると言っているほどの様々な情報が載っていました。それから、C編では、消費生活のこれからや今起きている課題、こういったものなど自分を守ることにしても、消費者の力として身につけておかななくてはならない内容についても分かりやすく紹介しているのがよかったです。 開隆堂出版については、各単元に学習の目標が示されていました。幼児の生活や防災の内容がとても充実して示されていたことも良かったです。このように、他のところでも実践の方法が具体的に示されていて、学んだことを発展的に学習する、また、生活の中での例、疑問を見つけて自分自身の生活

	議長 委員	と関連づけて考えることができる工夫がされているのがよかったと思います。中でも、このところにある子どもの手形と足形があるんですが、0歳、6歳、15歳というのがあるんですが、ああ、頑張ったなと思いました。これを見たときに子どもは絶対にこうやって合わせてみるんじゃないかなと思いましたし、こういう教科書が何か子どもにとっても自分の興味関心が出るような気がします。教科書をガイドするマークが出てくるところや参考など、ちょっとした豆知識がとてもよかったです。このような参考資料が豊富で充実していて、生徒も興味を持ちやすく、今の事柄が分かりやすい教科書だと感じました。以上です。 ありがとうございました。他にご意見ございますでしょうか。 どの教科書も衣食住に関して少しずつ自立に向かい、また、生活の中で課題を見つけて解決していこうと導いていて、生活をする上で大切なことが丁寧に示されていると思いました。中でも私が家庭科の教科書ですごくこういうところを学んでもらいたいと思うのは、小学校のときは親御さんに手伝ってもらっていたことでも、中学生になったら、少しずつ自分だけでできるように自立することへの自信を強めてもらいたいと強く思いました。 例えば衣服の手入れに関しても、制服や体操着にちょっとしみをつけたという、そのしみの種類によって、自分で落とすような行動に移せるのか。これはどこの教科書さんでもその点に関しては記載がありますけれども、中でも開隆堂出版の「自立しともに支え合う生活」を推薦したいのですが、やってみようと思う手順などが非常に見て分かりやすかったです。例えば調理や裁縫などの手順説明の写真も非常に、見て、なるほどなど分かりやすいです。裁縫も、布の端っこの縫い代の部分であったりとか、マチ針を打つ部分であったりとか、そういうところの図が分かりやすい、色の使い方も分かりやすいということと、調理手順も今は割とスマホの動画でパパッと料理の仕方を見られるんですけども、そんなようにやっぱり動画で料理を見る、作り方を見るときも、見て分かりやすいという動画を選ぶんですけども、教科書もやっぱり調理手順が分かりやすいというのが一番やってみようという気持ちになるのかなと思いました。 また、手順の中にある「押さえておきたいポイント」という言葉かけが非常に効果的であるという点もいいと思いました。例えばハンバーグの調理に関しても、塩を入れて肉をこねてというよりも、塩をなぜ入れるのかという説明が、塩を入れて混ぜると肉の粘りが出るとか、形崩れがしにくいとかそういうこと、「あ、だからか」って頭に入っていると、次作るときにお塩を入れるのを忘れないとか、そういう何か実生活にすぐ生きて、やってみて、そしてそれが自信につながる、そんなような教科書だと思います。家庭科という教科では、今、申しあげましたとおり、知識だけでなく、参考にして、やってみよう、できたぞという自信、そういった自主的な行動につながる教科書がいいのかなと思ひまして、中学生には、自立できるんだよという
--	----------	--

	議長	自信を深めてほしいという思いから、開隆堂出版を推薦いたします。 ありがとうございました。あと、ほかにご意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。 ございませんようですので、それではここで、技術・家庭科、家庭分野につきまして、皆様のご意見を総合して、寒川町の生徒たちにとってふさわしい教科書発行者の傾向を確認しておきたいと思いますが、教育図書と開隆堂出版に推薦があったということでよろしいでしょうか。
	全委員 議長	〈了承〉 それでは、これらの発行者の教科書を推薦するということでまとめさせていただきます。
	議長 事務局	続きまして、外国語につきまして、事務局より説明をお願いします。 それでは、外国語についてご説明申し上げます。 調査資料の 33 ページをお開きください。発行者番号 2 東京書籍「NEW HORIZON English Course」につきましては、即興的な英語力を育めるよう、「Small Talk」が各学年の巻末に掲載されている。また、小学校で学んだ表現の理解を深められるよう、1 学年の Unit 1～4 の学習内容に小学校では既習内容が配置されているなどの特徴があります。 続きまして、発行者番号 9 開隆堂出版「SUNSHINE ENGLISH COURSE」につきましては、4 技能 5 領域を総合的に育めるよう、総合的なパフォーマンス活動を行う「Our Project」が複数設定されている。また、多様な物の見方や考え方を身につけられるよう、環境の保全に関する話題や、異文化理解を促すような話題が掲載されているなどの特徴があります。 続きまして、調査資料の 34 ページをご覧ください。発行者番号 15 三省堂「NEW CROWN English Series」につきましては、社会の多様性を尊重し、国際的な視野を広げられるよう、様々な人や文化に触れられる題材が設定されている。また、使用場面を想定しながら、文法を学ぶことができるよう、「Language Focus」が掲載されているなどの特徴があります。 続きまして、発行者番号 17 教育出版「ONE WORLD ENGLISH COURSE」につきましては、コミュニケーション能力の向上を促せられるよう、「Activities plus」が随所に取り上げられている。また、見通しを持って学習に取り組めるよう、3 年間の 4 技能 5 領域それぞれの学習到達目標が示されているなどの特徴があります。 調査資料の 35 ページをご覧ください。発行者番号 38 光村図書出版「Here We Go! ENGLISH COURSE」につきましては、複数の技能を統合的に活用する力を育めるよう、各 Unit で学習した内容を

		関連づけた「You can do it!」が設けられている。また、「CAN-DO List」に基づいた自主的な学習に取り組めるよう、各学年の巻頭に「学びのサイクル」が掲載されているなどの特徴があります。 続きまして、発行者番号 61 新興出版社啓林館「BLUE SKY English Course」につきましては、学習をより深く理解し、整理することができるよう、いくつかのUnitごとに「Focus on Form」が配置されている。また、個別学習、家庭学習で自主的に学びに向かうためのヒントが示された「英語の学び方」が記載されているなどの特徴があります。以上でございます。
	議長	ありがとうございました。それでは、ただ今の説明につきまして、何かご質問、ご意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。
	委員	では、ご意見の方をお願いいたします。 私は光村図書出版を推薦します。まず、私は英語が非常に嫌いな人間だったものですから、どの教科書見ても、全部もう 1 回勉強し直して頑張ったら、こんな教科書だったら英語が好きになるなと思ったので、どの教科書を見てもよいなと思いました。 その中で自分が今、実生活の中で、いろんな人とコミュニケーションを取って、英語を使ってコミュニケーションができたらいいなと思った時にまず感じたのが、お話しができるといいなと感じました。つまり、お話しすることが一番英語を使って楽しいと感じるときなのかなと思ったことと、それから、自分の時には高校の授業はリーディングとグラマーという、一生懸命文法を詰め込ませて、その文法のパターン練習というのでコミュニケーションを取らせようという感じもあったんですけども、そういったものとは違う教科書の形になってきているので、何がよいのかなと思ったときに、やはり文法とか書くことを重視することではなくて、一番最初にコミュニケーションから始まってくるこの教科書のスタート、章と言わないですね。レッスンとも言わない。ユニットということで進めていくこの教科書がよかったと感じています。 登場人物が 1 年生から 3 年生まで変わらず、それぞれのユニットが関連づけられたもので進んでいって、まるで漫画の第 1 話、第 2 話、第 3 話という形で進んでいくような感じがあって学習の関連性があり、非常に興味深く子どもたちも、各ユニットで進んでいくストーリーや、登場人物と生徒たちの気持ちというのもつながっていく気がしていいなと思いました。リーディングのモチベーションに非常にいいと思っています。 授業の導入が聞き取りから始まっているということで、子どもたちは自分に置き換えて、場面を想像しながら授業が行われて、そして、コミュニケーションを図る活動を多く取り入れている教科書がこの教科書かなと感じています。 それから、「Daily Life」や「Let's Read」などのトピ

	議長 委員	ックの使い方も非常に面白かったと思っています。ちょっと文字が小さいかなと思うところもありましたけれども、全体的には、視覚的に理解しやすいように、文字を少なくして配慮して、分量が適切であるというふうにも感じたところも自分がこれを選んだ理由になります。以上です。 ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。 私も光村図書出版を推薦します。編集の基本方針の中で、この教科書で学ぶ子どもたちが自信を持って新たな一歩を踏み出す、間違いを恐れずに世界の人とコミュニケーションを図り、共に考え、未来を切り開いていけるよう編集しましたとありました。やっぱりこの辺りがすごく大事なことだなと思います。自分も含めてやっぱり自信を持って使える、子どもたちもそうなんですけど、間違いを恐れずにということはすごく大事なことでないかなと再度思いました。そういう部分がまた、寒川町の生徒たちに必要なことだということを強く感じています。 さらに、小学校の学びを踏まえて、楽しく学ぶことができる教科書を目指しましたということも書かれていました。実際には小学校の学びを円滑につなげられるよう、1年生の初めに、「Let's be Friends」とか、コミュニケーション能力を高められるような「Daily Life」とか、職業的なやり取りの力を育めるように、「Let's Talk!」など、そういったものが工夫されているところもよいと思います。聞く、読む、話す、書く、それぞれの分野にメリハリがついていて、取り組みやすくなっていると思います。また、活動に関する写真やイラストが豊富で、生徒にとって興味・関心を持ちやすい内容になっているとも思います。もう1つ、分量も適切だなという気がしました。寒川の生徒に寄り添った教科書であるように感じております。以上です。
	議長 委員	ありがとうございます。他にご意見いかがでしょうか。 6者全て読ませていただきました。昔ながらのつくりでありながら、今まで小学校5・6年生に中学校1年生の内容が入ってきたということもあり、そういうところからと思いますけども、教科書の内容の並び、後ろについていた資料が前に来ていたりとか、それから、話す活動がやっぱり小学校で多いので、サイコロトークみたいな工夫をしていたりとか、そういう各教科書の努力点がすごく感じられて、リスペクトの気持ちを持ちました。 私は、開隆堂出版の「SUNSHINE」と光村図書出版の「Here We Go!」を推薦します。まず、開隆堂出版、光村図書出版それぞれ、資料を読んだ後に、リテリングというのですが、もう一度自分の言葉で伝えるという活動が2者には入っていました。昔の教科書でやっていた私も大きなピクチャーカードを使って、そのユニットの物語の内容をもう1回自分の言葉で言ってみようかとチャレンジしましたが、なかなかうまくいかなかったので、やっぱり繰り返し繰り返しやっていくうちにだんだんできるようになっていくのだらうなと思っていましたが、そういうものができやすいよう

		な素材がちゃんとこの教科書には含まれていたという点がよいと思います。 そして、開隆堂出版のほうには、「Our Project」のところでスピーチがあるのですが、まず、スピーチを聞く、スピーチを読む、スピーチを練る、マッピングをする、そして、書くという流れがとても丁寧に行われておりました。１年間で３回もスピーチ活動をするという内容の教科書だったのですが、逆に読み物があまりないというところも特徴なのかなと感じました。３年生まで行くと、資料の読み取りからリテリングをしたり、ポスターセッションから発表したり、ディスカッションしたり、SDGsの内容でということで、こちらも豊富な題材がそろえられていた点がすばらしいと感じました。 光村図書出版の方は、やはりゴールを見据えた状態で、それから、目的、場面、状況をしっかり意識をした言語活動を行う。活動後の自分をイメージするという主体性と、それから、粘り強く取り組みながら、仲間とシェアをするという対話的な学習、そしてICTの活用などを使って、自分で録画をして振り返ったり、それから、相手にアドバイスをして、もう一度自分でやり直したりという学びを深めるというものがはっきりと流れが分かり、教室でも子どもたちも学びやすいですし、教職員も教えやすい教科書かなと感じています。 さらに、スピーキングの方には、即興というところで題材があり、そこでお互いにいろいろ話し合うというところがあるんですが、それに際しても、やっぱりできない子もおりますので、丁寧に「学び方ガイド」というところがついていました。できない子については、やっぱり聞く・話すよりも、読む・書くのところが弱いんですが、この光村図書出版の教科書は、聞く・話すのところについても、「学び方ガイド」についてしっかりと触れられていたところがすばらしいなと感じました。登場人物が３年間で友情を深め、成長していくというところに、子どもたちはすごく自分自身そこに入り込んでいくような実感が持てるのかなと思い、光村図書出版の方を推薦したいと思います。以上です。
	議長	ありがとうございます。他にご意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。 それではここで、外国語につきまして、皆さんのご意見を総合して、寒川町の生徒たちにとってふさわしい教科書発行者の傾向を確認してまいりたいと思いますが、一つは開隆堂出版、そして、光村図書出版に推薦があったということでよろしいでしょうか。
	全委員 議長	〈了承〉 それでは、これらの発行者の教科書を推薦するということでまとめさせていただきます。
	議長	続きまして、特別の教科 道徳について、事務局より説明をお願いいたし

	事務局	ます。 それでは、特別の教科 道徳について、ご説明申し上げます。 調査資料の 36 ページをお開きください。発行者番号 2 東京書籍「新編 新しい道徳」につきましては、学習内容を自分事として捉えられるよう、補助教材として切り取って使用できる「心情円」が用意されている。また、教材を読みながら考えたり、思ったりしたことを自由に書き込めるよう、各教材に「つぶやき」欄が設けられているなどの特徴がございます。 続きまして、発行者番号 17 教育出版「中学道徳 とびだそう未来へ」につきましては、学習内容を自分事として捉えられ、体験的な学習活動ができるよう、「やってみよう」が掲載されている。また、今日的な社会課題を同年代が解決する教材が複数用意されているなどの特徴がございます。 続きまして、調査資料の 37 ページをお開きください。発行者番号 38 光村図書出版「中学道徳 きみが いちばん ひかるとき」につきましては、課題解決学習を深められるよう、自ら問いを持ち、その問いを探究することができる「チャレンジ 問いを立てよう」が掲載されている。また、学習意欲を高められるよう、各教材に、朗読・資料・動画などが視聴できる二次元コードが掲載されているなどの特徴がございます。 続きまして、発行者番号 116 日本文教出版「中学道徳 あすを生きる」につきましては、納得解を導き出し、自己の成長を実感することができるよう、問題解決的な学習や体験的な学習ができる「学びを深めよう」が掲載されている。また、自分や他者の考えを記録し、自らの学びを振り返ることで成長を実感できるよう、「道徳ノート」が別冊として用意されているなどの特徴がございます。 続きまして、調査資料の 38 ページをお開きください。発行者番号 224 G a k k e n 「新版 中学生の道徳 明日への扉」につきましては、多面的・多角的に考えられるよう、教材の内容項目に即した関連情報や多様な意見等が「クローズアップ」として掲載されている。また、学習に関連する教材にアクセスできる二次元コード「学研教科書サイト」が掲載されているなどの特徴がございます。 続きまして、発行者番号 232 あかつき教育図書「中学生の道徳」につきましては、多面的・多角的な視点を持ち、考えを深められるよう、各教材の最後に、自己の生き方について考えを深められる発問が設けられている。また、自らの成長を実感することができるよう、学期ごとに学習を振り返る「学習の記録」が巻末に用意されているなどの特徴がございます。 続きまして、調査資料の 39 ページをお開きください。発行者番号 233 日本教科書「道徳 中学校」につきましては、主体的・対話的で深い学びにつなげられるよう、「クラスのみんと『道徳授業』を創り出そう」が設定されている。また、多面的・多角的な考えを引き出すことができるよう、「ウェルビーイングカード」が巻末に用意されているなどの特徴がございます。以上で
--	-----	---

	議長 委員	ございます。 ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、何かご質問、ご意見ございますでしょうか。 それでは、ご意見の方、よろしくお願いします。 私は、東京書籍とあかつき教育図書を推薦します。 東京書籍は、それぞれ題材の横に、表題とは別に、巻末にある教材一覧表、これがとても分かりやすく示されていて、とてもよかったです。その教材一覧表は、学習のテーマを示していて、考えるポイントについても出ているのが分かりやすかったです。「PLUS」のコラムはとても有効で、学習を補完したり、広げたりするのにはとてもよい資料だと思いました。教科書の中に、文章の表面だけではなく、写真やイラストがとても効果的に配置されていて、そのほかにもポスター、グラフ、漫画、そういったものが使用されていて、視覚的にも分かりやすい構成で、教材との関連でとても参考になりました。出てきましたけれども、「つぶやき」欄が有効に活用できて、これを振り返るとポートフォリオとして使えると思います。ちょっと文章の分量が長いかなと感じたところもありました。 次に、あかつき教育図書は、テーマで分けられていたり、各教科との関連なども提示されていたりして、とてもそういうところが横断的な学習でよかったと思います。新しい話題に飛びつくのではなくて、今までにあったことを残していきたいこととして重点を置いてつくられていて、いろいろなことを知るよいきっかけになる教材だと思いました。その中でも新しい話題も題材として取り上げられていたり、「シンキング」などで組み込んでいる教科書の作り方もよかったと思います。イラストがとてもきれいで、感情がにじみ出るように思いました。心を伝えるようなイラストと写真がとても素敵で、二次元コードもそれぞれ、そんなに多くもなく、小じんまりとしていたのがよかったです。 読み物としての分量もそれほど長くなく、まとめもシンプルで、いつも何を考えて、何を発見し、自分に何を残すのかで、自分の生き方について考える構成になっているのが分かりやすいと思いました。題材も身近なものが多くて、自分の問題として捉えて考えることができるように工夫されているのはよくて、とても分かりやすい、寒川の生徒には合っているのではないかとと思う教科書でした。以上です。 議長 委員 ありがとうございました。他にいかがでしょうか。 道徳の教科書では、どの出版社も、いじめや命の大切さ、情報モラル、多様性、安全、防災、自然、環境など幅広いテーマで気づきを追求していついて、自分を見つめることと、他人の視点になって考えてみることなど、心の成長に大切な教科書であると本当に思いました。 中でも私が推薦したいのは光村図書出版の「中学道徳」です。一番最初のところなのですが、それでも、「道徳の学習を始めよう」というところ、最初です
--	---------------------	---

	ね、そのテーマの下に「編集委員会」と記されていて、編集した方々の思いというのがそこに書かれています。そこで非常に感動いたしました。そこには、ポイント1「答えは1つではない」、ポイント2「自分と向き合い、他者と向き合う」、ポイント3「学びをつなげる」というように書かれています。道徳では、1つの正解を目指すのではなくて、自分なりの考えを巡らせていくという経験をしてもらいたいという私の思いが、この教科書の一丁目一番地に最初に載せられているところで共感いたしました。 また、「やってみよう」のページでは、1年生は、自分の気持ちを相手に伝えるために、2年生では、感情のマネジメントをしてみよう、3年生では、自分を受け入れるためにというテーマがありまして、このような内容は、悩みが大きくなる中学生にはぜひ考えてもらって学ぶことで、3年生になったら、ぜひ自分を受け入れられるようなそんな生徒たちになってもらいたいなと思います。 また、ちょっとこれは余談ですけど、なぜ感情をマネジメントすることが必要なかのところでは、怒りの感情をそのまま表出するだけでは問題の解決には結びつかないことがほとんどです。落ち着いて自分の気持ちを言葉で伝えていきましょうという言葉があるんですけど、こんな教科書で私が学びたかったなと思いました。つい先日も大人になった娘から、「お母さんの怒り方はラッパーみたいだ。ひたすら言葉を紡ぎ出す」と言われたので、もうちょっと前にこの教科書を読みたかったなと思って反省をいたしました。 全体的に、タイトルやキーワードが見やすく、余白や色使い、レイアウトも目に優しいデザインであり、取り組みやすい言葉がけがありますし、取り組んでもらいたいと思う内容であったので、私は光村図書出版を推薦させていただきます。 ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。 私は、東京書籍と光村図書出版を推薦します。他の委員の方からもありましたが、光村図書出版ですけど、東京書籍の方でも、「心情円」という、怒りや自分の気持ちのところというのを、こういうのはやっぱり今こういう時代なのかなと。やっぱりそれぞれ自分自分の考えを持つのはよいのだけでも、やっぱり自分の考えはこうなのだよというときに、「えっ、相手はこうなの？」という、そこってすごく大事。怒りとか感情のこの表は、現場では使うことがすごく有効だなというようなことがいっぱいありますので、これからの時代はこういうものを活用していくのかなと思います。 道徳って、私はやっぱり「星野君の二塁打」の時代ですから、野球監督の指示は従わなきゃいけないとかそういうところなので、今はやっぱり多様性を認めていかなきゃいけない。特に今はやっぱり命の大切さとかいじめとかそういう具体的な話題なんだけど、そこにいきなりずっと食い込んでいっちゃうと、やっぱりショッキングな内容に行っちゃう場合もあるので、場合にもよるでしょうし、一人ひとりの経験によって結構受け取り方も違ってくる
--	---

議長
委員

	議長	ので、やっぱり大きなところでいうと、ユニバーサルデザインというか、何ていうのかな、ダイバーシティーというか多様性みたいな、色々と認めていくことがいじめとか命を大切するというのにつながっていくと思いますので、東京書籍と光村図書出版の教科書がいいのかなと感じました。 ありがとうございました。あと他にはいかがでしょうか。よろしいですか。 それではここで、特別の教科道德につきまして、皆様のご意見を総合して、寒川町の生徒たちにとってふさわしい教科書発行者の傾向を確認しておきたいと思います。東京書籍、光村図書出版、あかつき教育図書に推薦があったということによろしいでしょうか。
	全委員	〈了承〉
	議長	それでは、これらの発行者の教科書を推薦するということでまとめさせていただきます。 たいへん長時間に渡りましたが、これですべての種目についての審議を終了いたしました。ありがとうございました。 ここまで、種目ごとに、寒川町の生徒たちにとってふさわしいとのご意見のあった発行者につきましてはその都度まとめてまいりましたが、改めて事務局から報告がありますので、ご確認いただきたいと思います。では、事務局、お願いいたします。
	事務局	本日ご審議いただいた中で、検討委員会のまとめといたしまして、種目ごとにご推薦いただいたものを次のとおり報告させていただきたいと思います。 種目：国語 東京書籍、三省堂、光村図書出版。 種目：書写 東京書籍、光村図書出版。 種目：社会（地理的分野） 東京書籍、帝国書院。 種目：社会（歴史的分野） 東京書籍、帝国書院。 種目：社会（公民的分野） 東京書籍、帝国書院、日本文教出版。 種目：社会 地図 東京書籍、帝国書院。 種目：数学 東京書籍、学校図書、教育出版。 種目：理科 東京書籍、学校図書、新興出版社啓林館。 種目：音楽（一般） 教育出版、教育芸術社。 種目：音楽（器楽合奏） 教育芸術社。 種目：美術 開隆堂出版、光村図書出版、日本文教出版。 種目：保健体育 東京書籍、大修館書店、G a k k e n。 種目：技術家庭（技術分野） 東京書籍、教育図書。 種目：技術家庭（家庭分野） 教育図書、開隆堂出版。 種目：外国語（英語） 開隆堂出版、光村図書出版。 種目：特別の教科道德 東京書籍、光村図書出版、あかつき教育図書。 以上でございます。
	議長	ありがとうございました。ただ今の内容についてはいかがでしょうか。

	全委員 議長	それでは、ご確認いただいたということでよろしいでしょうか。 〈結構です〉 以上の内容を教科用図書採択検討委員会の意見として、教育委員会で報告することにいたします。それでは、これで議事が終了しましたので、皆様方から他にご意見等がないようでしたら、進行を事務局に戻したいと思います。が、よろしいでしょうか。
	全委員 議長	結構です。 ありがとうございます。それでは、事務局お願いします。
6 連絡	事務局	ご審議のほどありがとうございました。事務局から2点ご連絡させていただきます。 1点目は、今後の日程についてでございますが、今後、教育委員会臨時会において採択が行われ、来年度の4月より、寒川町の中学校でその教科書の使用が始まります。また、採択されました教科書は、原則として4年間同じ発行者のものを使用することになります。ただし、現在給与され複数学年で使用することになっております種目については、令和7年度が上級学年となる場合は継続して使用することになります。 2点目になりますが、本日までの資料は、恐れ入りますが、全て机上もしくは椅子の上に置いてお帰りいただきたいと存じます。
7 閉会	司会 課長	それでは最後に、黄木学校教育課長より閉会のご挨拶を申し上げます。 本日は、公私共にご多用のところご出席いただきまして、ありがとうございます。先ほどもありましたけれど、本当に事前の準備も含めまして、本当に長時間にわたって丁寧にご審議いただきまして、本当に有意義なご意見を賜りましたことを深く感謝申し上げます。 今後は、教育委員会の臨時会におきまして、採択に向けて、皆様のこの思い、こちらが詰まった有益な成果を十分に活用させていただきたいと思っております。 以上をもちまして、令和6年度第2回寒川町教科用図書採択検討委員会を閉会とさせていただきます。誠にありがとうございました。